

学術俯瞰講義・変化する都市

# 現代大都市の 機能更新と景観保全

日本の場合—東京を中心に

2008.6.25

西村幸夫

‡:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

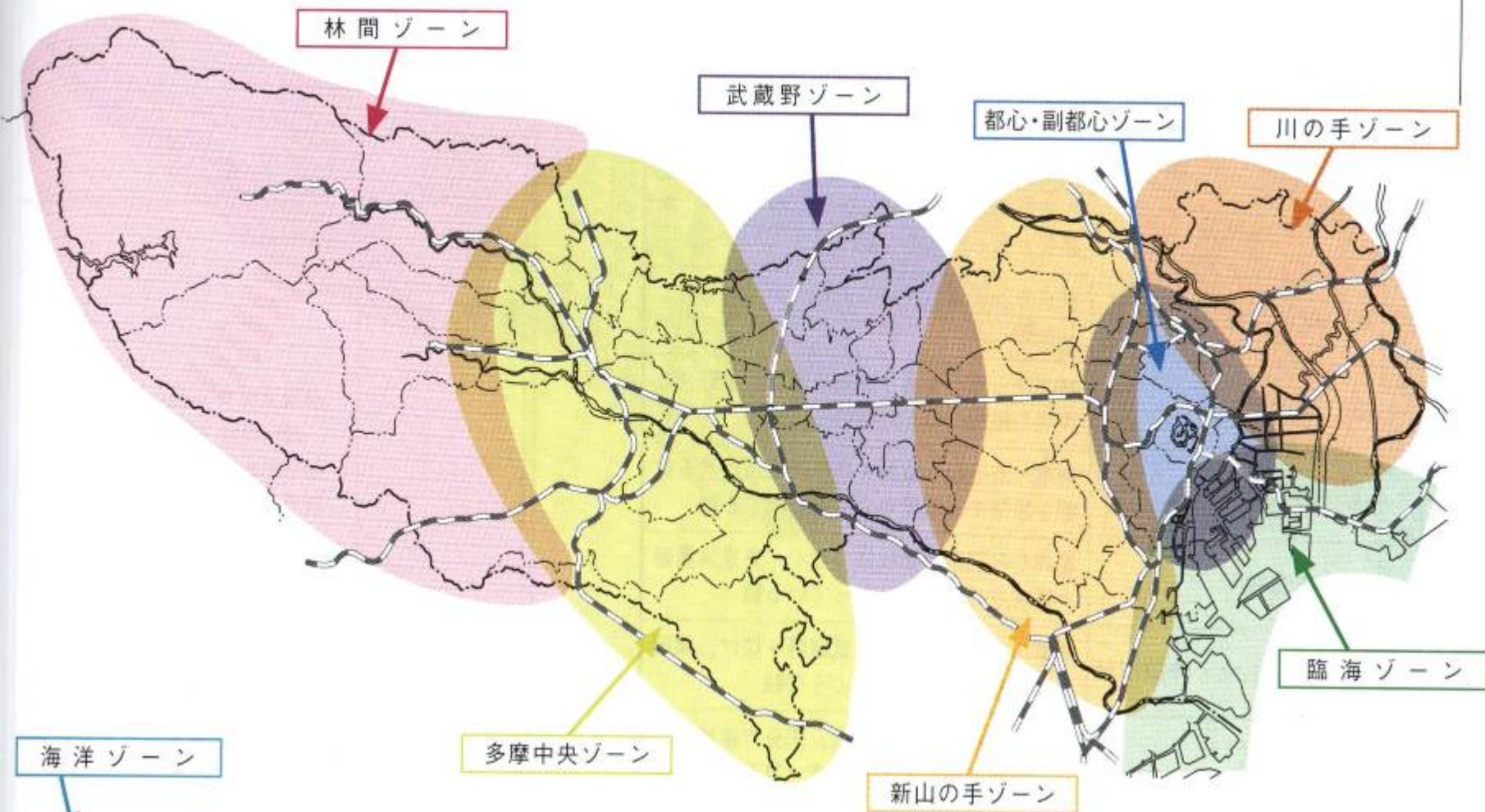
# 東京都都市景観マスタープラン

1994

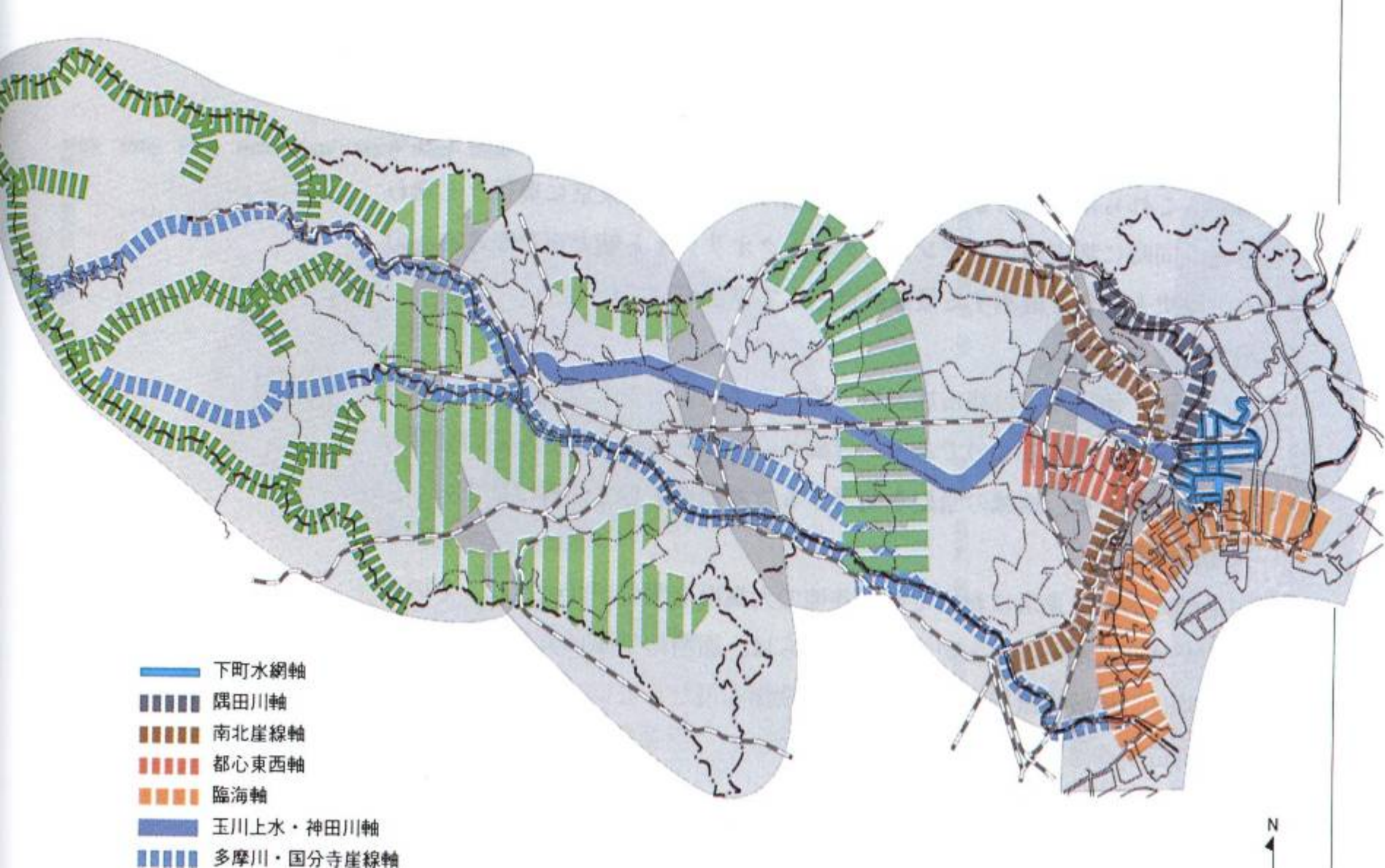


東京都

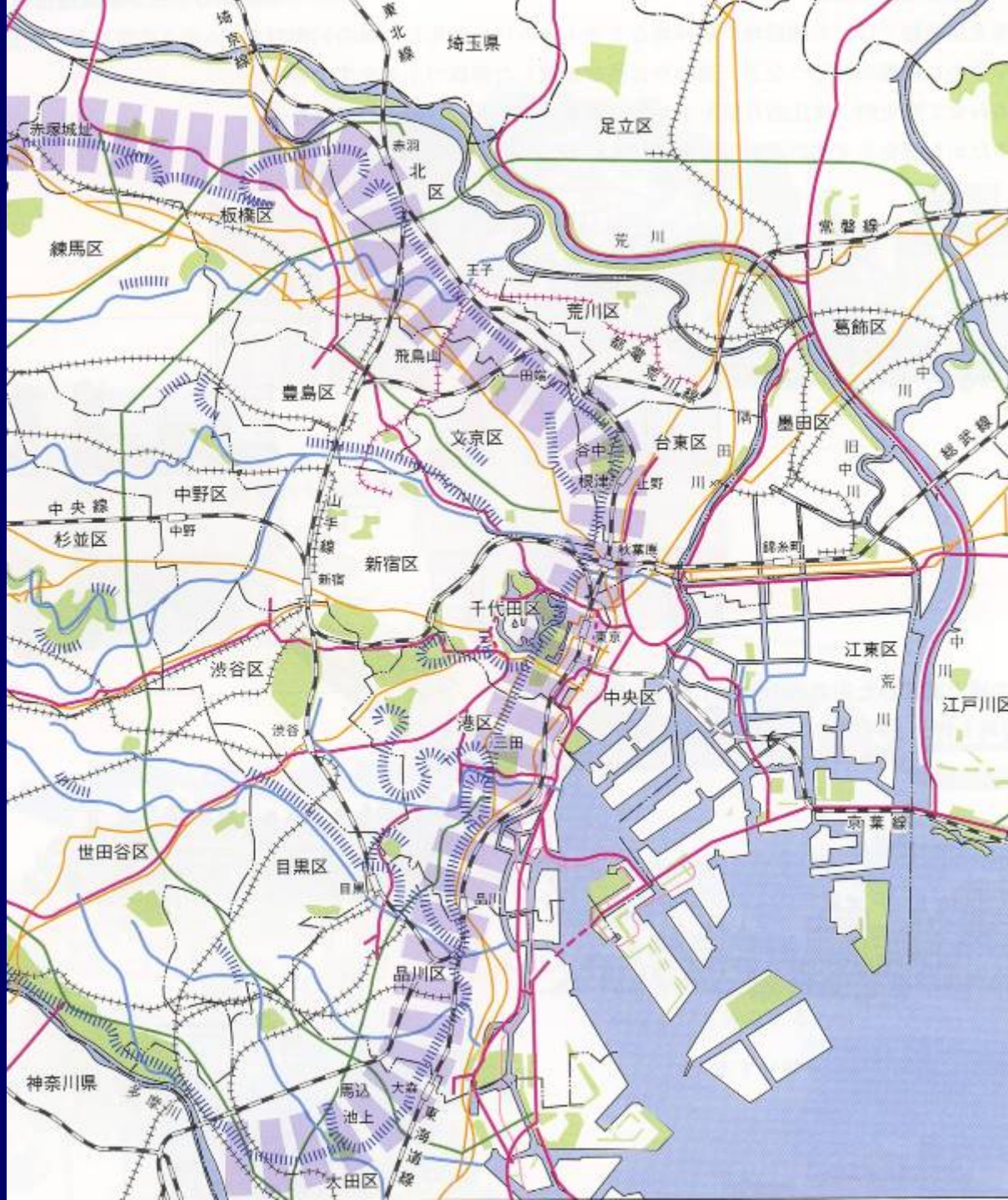
東京都都市景観マスタープラン1994 P53  
景観ゾーン設定図



東京都都市景観マスタープラン1994 P55  
景観基本軸設定図







東京都都市景観マスタープラン1994 P101  
南北崖線軸



# 千代田区都市景観形成方針

～風格ある千代田区の景観形成にむけて～



千 代 田 区

千代田区都市景観形成  
方針～風格ある千代田区  
の景観形成にむけて～  
表紙



● 千代田区の景観の骨格構造の形成

千代田区の景観の骨格構造は江戸の街づくりの構造を基本的に継承しながら、市区改正期以降、整備されてきている。

市区改正期（明治23年～大正12年）

丸の内から日比谷にかけてのわが国経済の中心を担うオフィス街の道路基盤は、明治中期の市区改正事業によっておおむね整備されてきた。明治初期からわが国の行政の中心となる官庁街の形成についての議論が行なわれ、首都のイメージ向上の視点から四谷見附橋等の装飾橋梁が建設された。

震災復興期（大正13年～昭和5年）

大正12年の関東大震災により神田から飯田橋にかけての地区は壊滅的な被害を受けた。市区改正事業当初の計画では区全体の骨格道路網整備について計画されたものの様々な制約により縮小を余儀なくされていたが、この震災復興事業により道路網整備は飛躍的に前進することになった。

昭和戦前期（昭和6年～昭和20年）

都市景観へのインパクトを及ぼす骨格の一つである道路網整備のほとんどが震災復興期に完成されたため、この時期の整備は、部分的なものに留まっている。特に、甲州街道と靖国通りを結ぶ内濠通りが整備されたことにより、現在のような皇居を取り巻く内側の環状構造が決められた。

戦災復興期（昭和21年～昭和30年）

第二次世界大戦の敗戦により米軍の占領下で戦災復興事業が進められ、外濠の新橋から日本橋川との分岐点までの区間が埋められ、外濠通りとして整備された。これにより現在のような銀行や証券会社が立地する基盤が東京駅の八重洲口側に形成されたが、反面、江戸期の面影を残す貴重な濠の水面が失われた。

震災復興事業による街路網



高度成長期（昭和31年～昭和48年）

米軍による占領下から解放され、わが国が国際社会への復帰を目指し、活発に動いていた時期であり、霞ヶ関の官庁街道路がこの時期に整備された。また、東京オリンピック開催に伴い都市交通網の整備が行われ、日本橋川や千鳥ヶ淵等にかかる首都高速道路も建設された。

高度成長期以降（昭和49年～）

大事業といえるものはないが、道路の拡幅整備等が交通網の発展とともに部分的に進められている。また、霞ヶ関ビル建設以後、都市景観に大きな影響を与える超高層建築物が建設された。そのため、これまで地域のランドマークとして親しまれてきたニコライ堂などの歴史的景観にも影響を与えた。

● 特徴的界隈の成立

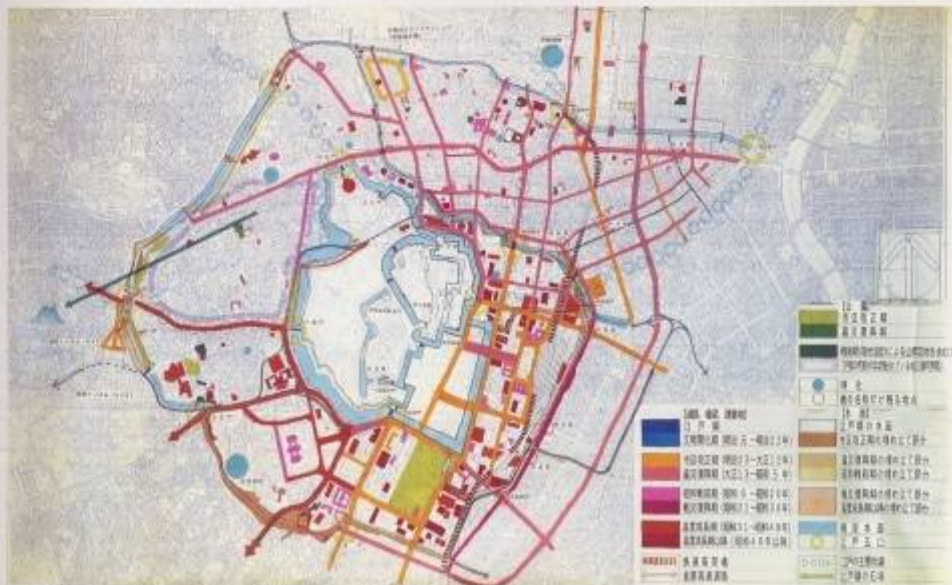
江戸のまちの構造を基底とした土地利用の歴史的な積み重ねが、現在の地区ごとの個性ある景観の形成につながっている。

土地利用の重層構造



江戸のまちは、武家地・寺社地・町地に大きく分かれていた。千代田区の区域の大半は、将軍の住む城、藩邸、旗元・御家人の屋敷で占められ、町地はごくわずかであった。明治期になり首都東京の整備が進む中で、武家地は皇居、官用地・軍用地並びに住宅地等になり、麹町地区は立法・司法・行政機関が設置され首都機能を担うこととなり、神田地区は大学や学校の設置が進み、関連する印刷・書店街も発達することとなった。こうした土地利用の積み重ねが、今日の地区ごとの特徴や景観特性につながっている。

歴史的構造のまとめ



## b. 眺望点

現在、千代田区の街路から富士山や東京湾を眺望する場所を探すのは困難であるが、自然の地形を巧みに利用してつくられた内濠・外濠にかかる橋の上などには、視界の開ける眺望点が残っており、千代田区の景観を特色づけている。

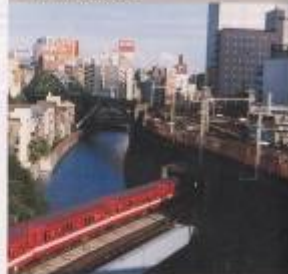
内濠からの眺望



外濠からの眺望



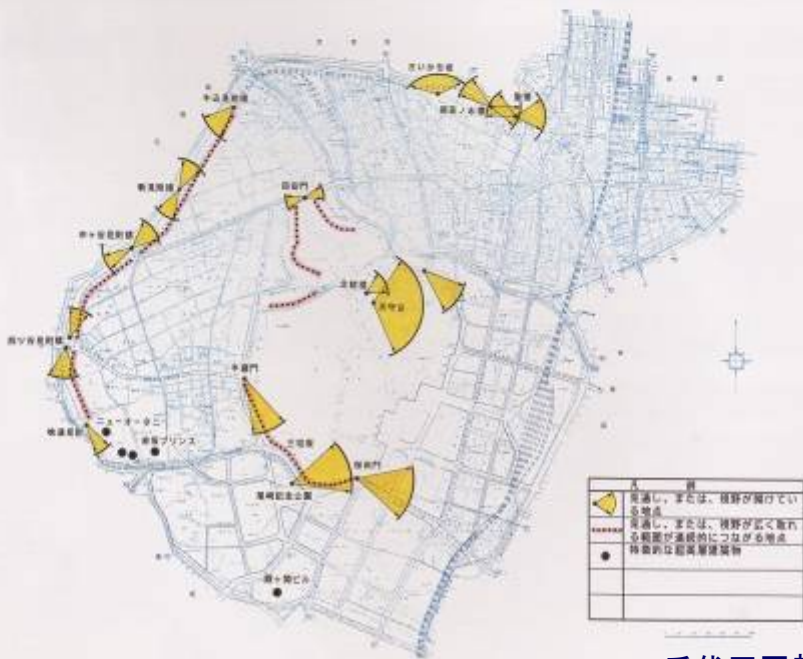
神田川の眺望



半蔵門付近は、内濠の水面と高低差のある景観を望むことができる。また、三宅坂を下りながら桜田門方面の官庁街のビル群と内濠とのダイナミックな景観の変化を捉えることができる。

外濠の噴見附土橋からは、外濠ごとに赤坂見附の市街地を見渡すことができる。また、噴見附、市ヶ谷見附、牛込見附にかけての外濠の土塁の上には、緑豊かな眺望点が連続する。

お茶の水橋と聖橋の上からは、神田川方向への眺望が開けている。お茶の水橋から飯田橋方向には、豊かな緑と水面が広がり、聖橋から秋葉原方向は、川と鉄道が折り重なる独特な景観を望むことができる。



## c. 特徴的結節点

主要街路の交わる交差点や橋及び橋詰広場等に特徴的な結節点が形成されている。

内濠沿いの結節点



外濠沿いの結節点



その他の結節点



江戸期以来、幕府直轄地と外部との結節点として江戸城の防衛上重要な位置を占めた内濠の城郭御門については、現在でもこれらに付随する公園・緑地空間と一般市街地の結節点としての役割を担っている。また、「国会前」「三宅坂」などの交差点は、特徴的な結節点を形成している。

外濠に接する見附は、江戸城郭の内と外を結ぶ重要な結節点であった。現在も、日御茶ノ水駅、四ツ谷駅等都心における重要な交通の結節点となっている。また、地下鉄の交差する赤坂見附や虎の門の交差点は、外濠沿いに残る特徴的な結節点といえることができる。

日本橋川沿いの旧外濠には、雉子橋門、一ツ橋門等や河岸がおかれ水路、街路の重要な結節点であった。また、街路上の特徴的な結節点として靖国通りの駿河台下、岩本町交差点等があげられる。鉄道や高速道路の高架橋下は、界限と界限とを結びつけるゲートの役割を担っている。



# 1. 千代田区の景観

## ● 現在まで残る江戸の骨格構造

千代田区の景観特性の基底には、江戸期の長い年月の積み重ねによって形成されてきた江戸城を中心とした城郭都市の構造がある。また、それらを形成する根本的な要素として、水路や街路、特徴のある界限などがあげられる。ここではそうした要素について、現在まで残る江戸の骨格構造、その骨格構造の形成時期、特徴的界限の成立という3つの観点にわけて要約してみた。

### 旧江戸城の広大な緑地空間



千代田区の区名の由来でもある千代田城＝江戸城の広大な緑地空間が、皇居及びその周辺の公園として千代田区の中央に位置し、過密都市の中心に貴重な緑地を形成し、千代田区のイメージを強調しているとともに千代田区の都市構造の基盤となっている。特に皇居については、国家の象徴空間として、強い中心性を有している。

### 水路にみられる江戸の面影



皇居及びその周辺を取り巻く内濠の水面、石垣及び土塁等が、ほぼ江戸末期の様子をとどめている。外濠については、弁慶濠から午込濠にかけて江戸末期からの水面と土塁の面影を伝えている。日本橋川については、首都高速道路や高潮護岸等の建設で、江戸末期の面影が失われているが、常盤橋門等にいくつか残存する。神田川については、川沿いの河岸地のビル化等により、江戸期の面影を探しだすのは難しいが、本郷台地を人工的に堀割ったJR御茶ノ水駅付近の斜面緑地にわずかに残っている。

### 現在にも息づく江戸五街道



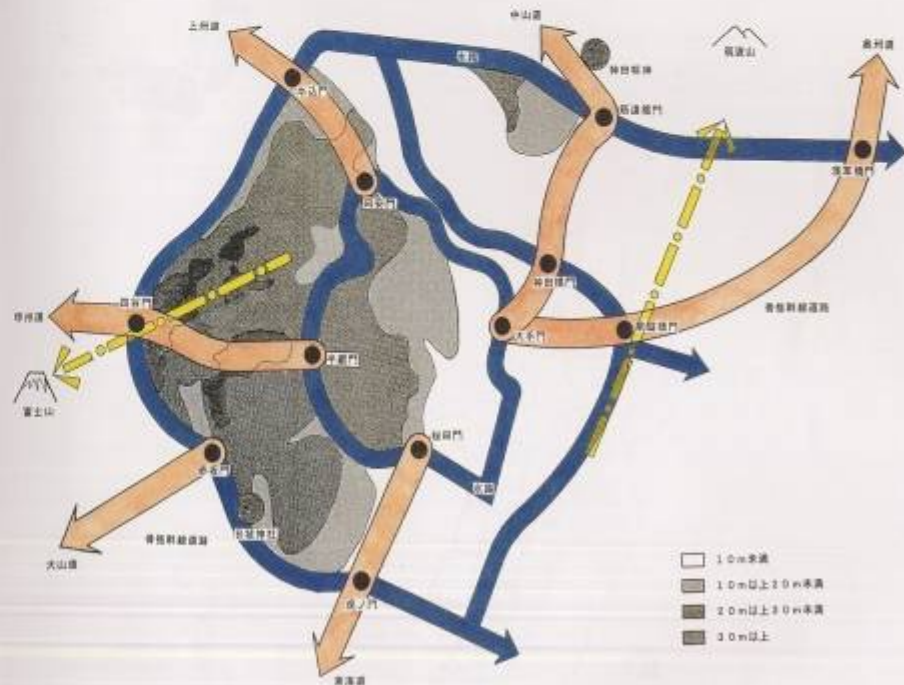
現在の環状街路、放射街路は江戸期にその構造の骨格が形づくられている。特に、東海道、甲州道、甲州道の三街路については現在でも、国道1号線、国道20号線、国道246号線として、東京の重要な幹線街路となっている。また、前述の東海道、甲州道、奥州道、日光道、中山道を加えた街路を江戸五街道と総称し、内濠及び外濠とこれらの街路の結節点である見附門を防衛上、重要視していた。

### 地形を活かした街割

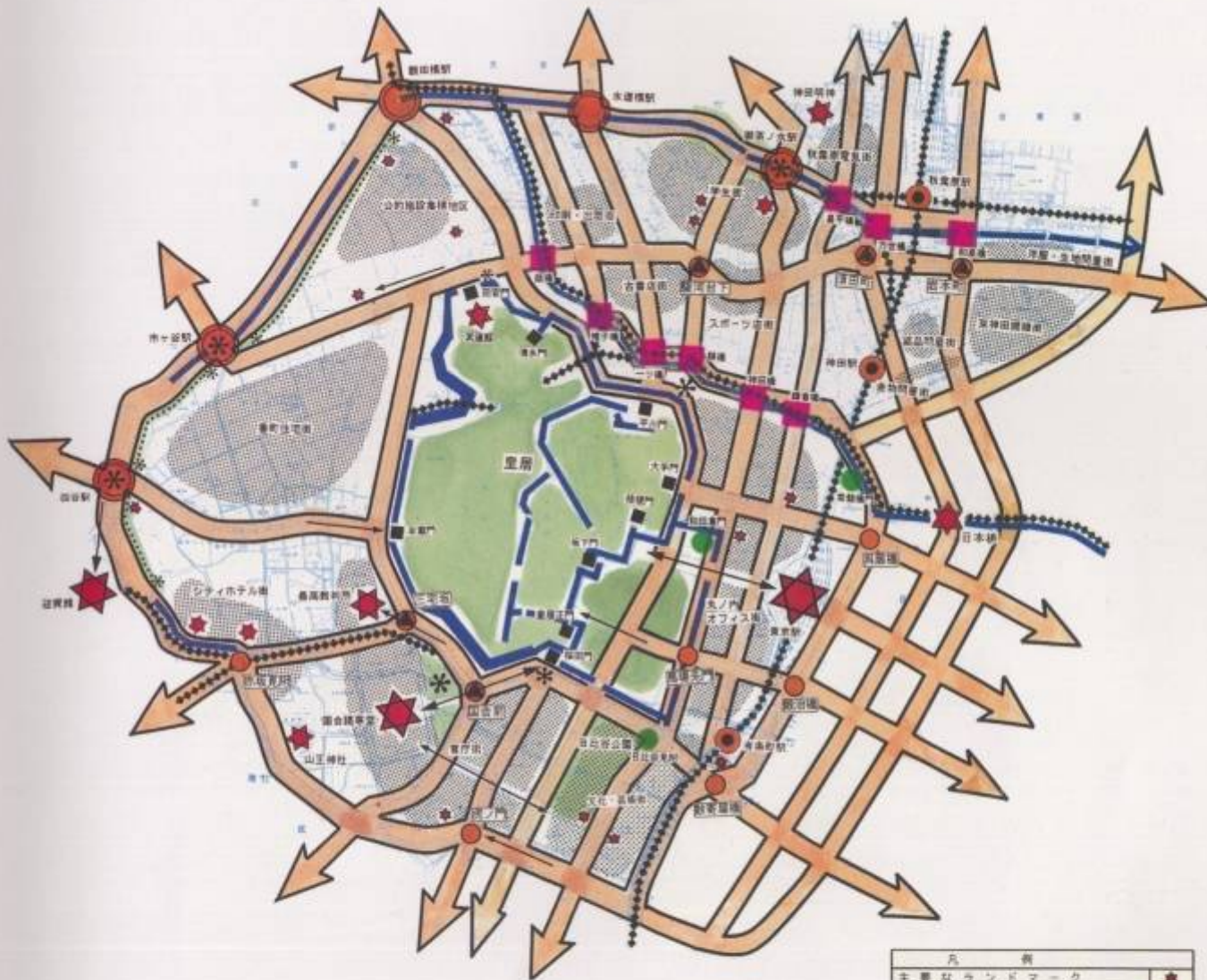


出典：『東京市史稿市街編附図第一』寛文江戸区

江戸期の街割は、山の手台地の谷筋と尾根筋そして下町の微高地を巧みに利用して形づくられた。明治以後、震災復興、戦災復興、高度成長期の各時代、特に震災復興の土地区画整理事業の施行により大きく変容を遂げてきたが、番町界限については、江戸期の街割のパターンがほとんど変わることなく、現在の街区構成となっている。また神田界限についても、大規模な街路網の改変が行われ、幹線道路の新設等によって位置が大きく動いたが、区画の方向性は江戸期のものが残っている。



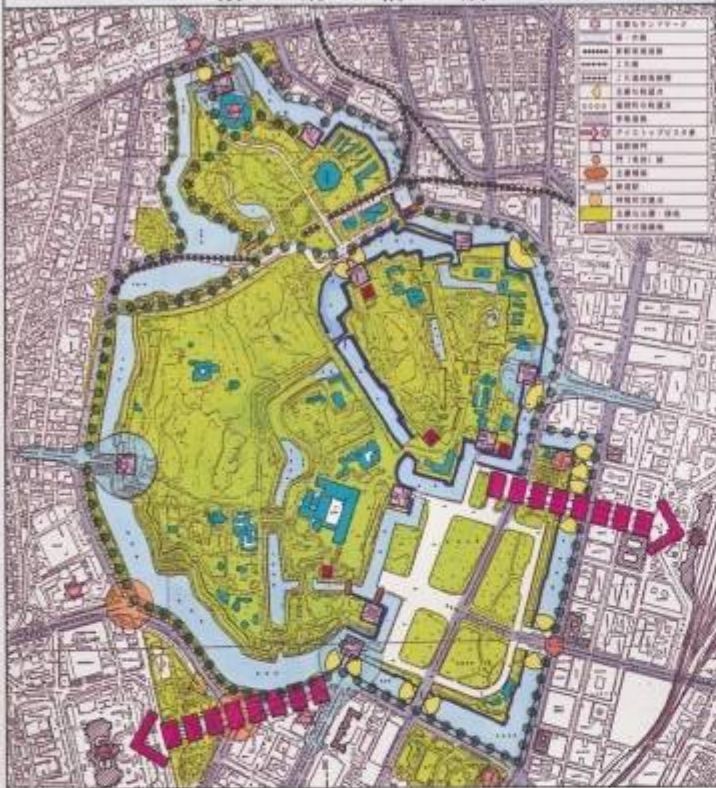




凡 例	
主要なランドマーク	★
主要な道・河川	→
境界要素	◆◆◆
主要な地点的眺望点	☆
眺望点	☆
主要な骨格道路とによる方向軸	→
方向軸	→
主要な城野御門	■
結節点	● (門跡) ● (名跡が残る)
主要橋梁	■
主要施設	■ (駅とセット)
主要な集積地区	■ (特異的な地区への結節点となる駅) ● (特異的な交差点)
主要な集積地区	■ (まとまった緑地)

# 境界1. 皇居とその周辺

## 景観構成



## 景観特性

- ・巨大都市東京の中心部に残された豊かな自然空間
- ・都市生活者の心にゆとりや安らぎを与えるオアシス
- ・貴重な歴史的空間

## 基本方針

1. 皇居とその周辺の緑地空間を東京都心のシンボルとして意識させる。

- 石垣
  - 櫓・天守台
  - 江戸並口
  - 皇居内既存建築物
2. 皇居とその周辺の広大な緑地・水辺を四季を感じることができる貴重な都市の緑地空間として一体的に保全する。
  3. 内堀に沿って連続して展開する眺望点を有効に活かした景観づくりを行う。
- 連続的歩行空間

### 1. 皇居とその周辺を東京都心のシンボルとして意識させる。

- 歴史的資産である城郭御門、橋梁、溝橋、石垣等を保全し、東京都心のシンボルとなっていることを意識させる。



- 内堀に沿って展開するランドマークとしての城郭御門（大手門、桜田門、半藏門、田安門）の歴史性を保全し、景観に活かす。



- 皇居とその周辺の緑地空間においては新たな建築を極力抑制し、既存の建築物の改修の際には江戸・明治の歴史性及びこの緑地空間との調和に配慮した形態・意匠とする。



- 皇居周辺の高層建築物の形態・意匠については、東京を代表するシンボルである皇居及びその周辺の緑地空間の背景となることを十分意識してその調和に努める。



### 2. 皇居とその周辺の広大な緑地・水辺を四季を感じることができる貴重な都市の緑地空間として一体的に保全する。

- 溝、石垣、土塁等の城郭の骨格空間を保全する。
- 内堀の水質を浄化し、水辺の親水性を高める。
- 皇居外苑、皇居東御苑、北の丸公園については、外部に広がる眺望の都市空間を忘れさせ、四季を感じることができるように樹木の配置や樹種を考慮し、豊かな緑地空間としての性格を高める。



### 3. 内堀に沿って連続して展開する眺望点を有効に活かした景観づくりを行う。

- 沿道に展開する首都を象徴し、代表するランドマークを眺めることができるビューポイント（展望場）を整備する。
- 溝の水辺や斜面緑地を眺めながら安全に歩いたり休憩したりできる歩行者空間をつくる。
- 歩道の素材や色彩、街路灯のデザインについては、皇居とその周辺の緑地空間の象徴性や歴史性に十分配慮したものとす。





千代田区都市景観形成方針～風格ある千代田区の景観形成にむけて～  
P.32



# 界限2. 大手町・丸の内界限

## 景観構成



## 景観特性

- ・皇居正面の首都東京の中心としての空間
- ・企業の本社機能が集積する界隈
- ・大区画のグリッドパターン(格子状道路)を一体的に利用した風格ある街並み

## 基本方針

1. 東京駅と皇居を結ぶアイストップ・ビスタ景を守る。  
アイストップ・ビスタの背景地区
2. 皇居正面として形づくられた歴史性を感じさせる格調高い街並みを活かしながら国を代表するオフィスを中心とした街をつくる。

- 橋
- ◀ 江戸瓦口
- 公園空地
- 丸の内内街通り
- 高架構造物ガード下のゲート機能

3. 内濠及び日本橋川の水辺を市街地内の潤いのある空間として保全・活用する。

### 1. 東京駅と皇居を結ぶアイストップ・ビスタ景を守る。

- 丸の内、大手町の中心軸として守られてきた東京駅から皇居にかけて展開するアイストップ・ビスタ景とともに東京駅丸の内駅舎をシンボル景観として保全する。
- 街路樹や街路灯等の種類や配置によって中心軸としてのシンボル性を高める。
- 東京駅と皇居空間を連絡する歩行者の中心動線にふさわしい安全で快適な空間づくりを行う。



### 2. 皇居正面として形づくられた歴史性を感じさせる格調高い街並みを活かし、わが国を代表するオフィスを中心とした街をつくる。

- 大区画のグリッドパターンによる均質な街路構造を特徴付けるために主要交差点(環状軸及び南北軸と放射軸の交差点)の真地建築物の形態・量感を工夫する。
- 丸の内線五街を経て現在まで積み重ねられてきたオフィス街としての完結性や歴史性を継承する。
- オフィス街の貴重な憩いの空間及び緑地空間として公園空地を有効に配置する。



- 日比谷通り沿道に展開する数国代表する美しい街並みを形成している建築物と隣及び街路の調和したスケール感を保全する。
- この地区のオフィス街で働く人々の憩いや賑わいの空間となっている丸の内内街通りの街路特性を活かす。
- 大手町・丸の内のオフィス街と日本橋・銀座の商業地を結びつけるゲートとして鉄道高架下(ガード)を活用する。



### 3. 内濠及び日本橋川の水辺を市街地内の潤いのある空間として保全・活用する。

- 内濠及び日本橋川の水質の浄化に務め、水辺の自然を豊かにする。
- 内濠外側に連続する歩道の舗装を工夫し、歩行者空間の拡大と、水辺への親水性を高める。

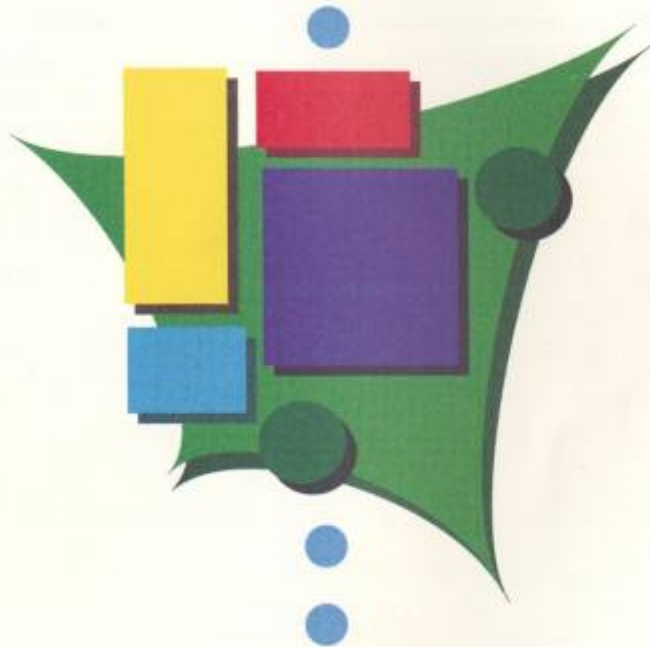


- 内濠に面して点在する広場等を歩行者が休み水と戯れ楽しむことができるような空間として活かす。
- 日本橋川に残る石垣、橋梁等の豊富な歴史資源を保全・活用する。



# 千代田区景観形成

## マスタープラン



平成 10 年 1 月  
千代田区

千代田区景観形成マスタープラン 表紙



景観の骨格構造図



# 景 観 構 成






## 景観特性

- ・巨大都市東京の中心部に残された豊かな自然空間
- ・都市生活者の心にゆとりや安らぎを与えるオアシス
- ・貴重な歴史的空間

## 基本方針

1. 皇居とその周辺の緑地空間を東京都心のシンボルとして意識させる。

-  石 垣
-  旗・天守台
-  江戸五口
-  皇居内既存建築物

2. 皇居とその周辺の広大な緑地・水辺を四季を感じることができる貴重な都市の緑地空間として一体的に保全する。
3. 内濠に沿って連続して展開する眺望点を有効に活かした景観づくりを行う。

-  連続的歩行空間

# 千代田区景観形成 マニュアル



千代田区

千代田区景観形成マニ  
ュアル 表紙

# ■基本方針別 キーワード一覧

基本方針

キーワード

新たな言葉…

## 1. 歴史を刻む場所 ● 9



江戸から引き継がれた  
まちの歴史的構造を活かす

- 「心」のより所 ● 10
- 眺めの映える場所 ● 12
- 年輪を重ねた樹 ● 14
- 敷地の歴史 ● 16
- 壁の表情 ● 18
- 見切りのデザイン ● 20
- 語りかける細部 ● 22
- ふさわしい材料 ● 24
- 人を育む場所 ● 26
- 先端性の蓄積 ● 28
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

## 2. 育まれた自然 ● 31



江戸—東京の歴史を伝える  
水辺と緑の自然を活かす

- 緑の環(わ) ● 32
- 水にふれる場所 ● 34
- 敷地の特性 ● 36
- 広場から広場 ● 38
- つながる緑 ● 40
- 見え隠れの庭 ● 42
- 屋上の庭 ● 44
- あいだの緑 ● 46
- 身近な花 ● 48
- 子供の笑い声 ● 50
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

## 3. 多様な界隈 ● 53



山の手と下町に展開する  
まちの個性を活かす

- モザイク状の町 ● 54
- ブロムナード ● 56
- あいだにある  
住宅 ● 58
- 世帯の混合 ● 60
- 間口の分節 ● 62
- 活きた通路 ● 64
- 目立たない設備 ● 66
- 見えない駐車場 ● 68
- 建物を活かす  
広告物 ● 70
- 表と裏の表情 ● 72
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

## 4. 豊かなコミュニティと 繁栄 ● 75



都心に生きる人々に  
活気とやさしさを与える

- 向こう三軒両隣り ● 76
- 歩行路の  
ネットワーキング ● 78
- 交流の場所 ● 80
- 人の気配 ● 82
- 陽のあたる場所 ● 84
- 小さな人だまり ● 86
- 座れる場所 ● 88
- お年寄り ● 90
- 夜のにぎわい ● 92
- 祭りの場 ● 94
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

## 5. 首都の風格 ● 97



首都として風格ある  
都心の美しさを創出する

- 都市の門 ● 98
- 通りの性格 ● 100
- 中心となる広場 ● 102
- 目標となる  
建造物 ● 104
- 高さの分節 ● 106
- 建物の縁(ふち) ● 108
- 門・玄関 ● 110
- 柱の雰囲気 ● 112
- ふさわしい色彩 ● 114
- 「都」の魅力 ● 116
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

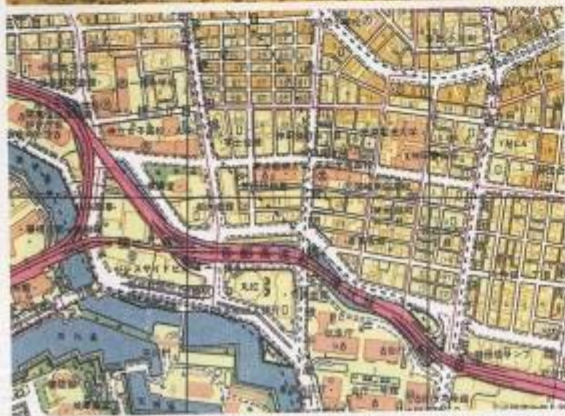
## ● 敷地の履歴 ●

人に履歴があるように、土地利用にも歴史がある。  
敷地には、江戸の町割に規定されながらも  
歴史的に継続してきた敷地利用の形態があった。  
敷地は過去の使われ方の上に、新たな要素が加わりながら  
現在の使われ方になってきた。  
敷地の使われ方の歴史を知り、理解することができれば、  
そこに計画される建物は地域に自然にとけこむだろう。



明治18年頃

出典／『参謀本部陸軍  
部測量局 五千分一東京  
区測量地図』（財）日  
本地図センター刊



平成2年

出典／『平成二年修正  
一万分の一地形図』  
国土地理院刊

江戸の火除地に作られた大学が、いままも学生会館やツツ橋講堂として残る。

### 対処

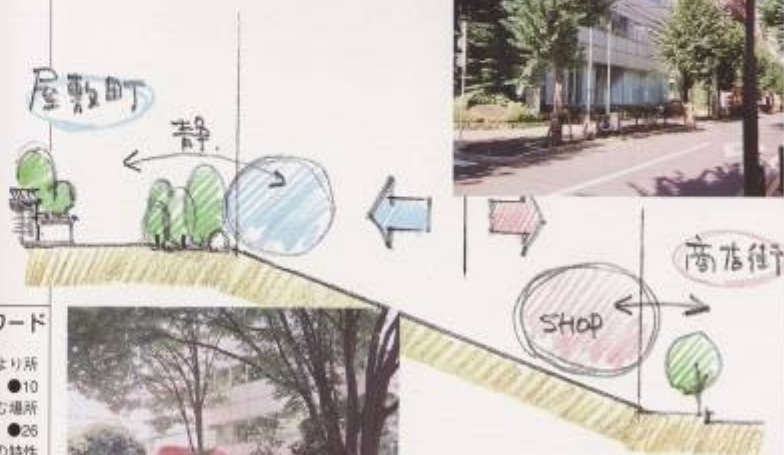
新たに建物を計画する際、まちの移り変わりのなかで踏襲されてきた敷地利用の履歴を踏まえ、これを尊重する。

### 手法例

- 町や地区単位での変遷図から敷地の履歴を読み込み、計画、設計に反映させるなどである。
- 敷地を共同利用する場合には、歴史的に形成されてきた地割構成を尊重し、計画する。



出典／『東京復元図』東京都教育委員会刊



### 関連キーワード

- 心のより所 ●10
- 人を育む場所 ●26
- 敷地の特性 ●36
- モザイク状の町 ●54



尾根道の昔の武家屋敷と谷道の町家のエリアを一つの土地として開発する場合であっても相互の土地の履歴を尊重し、景観などにその風情を踏襲している例。

## ●眺めの映える場所●

地形の変化をたくみに利用して築きあげられた千代田城（江戸城の別名で区名の由来となる）には、濠、川の付近、見附や橋、台地の崖線など眺めの映える場所が数多くある。人々に愛され、受け継がれてきた美しい場所と眺めは、ここをおとずれる人々の共有財産である。



〔三宅坂より桜田門方向を眺める〕

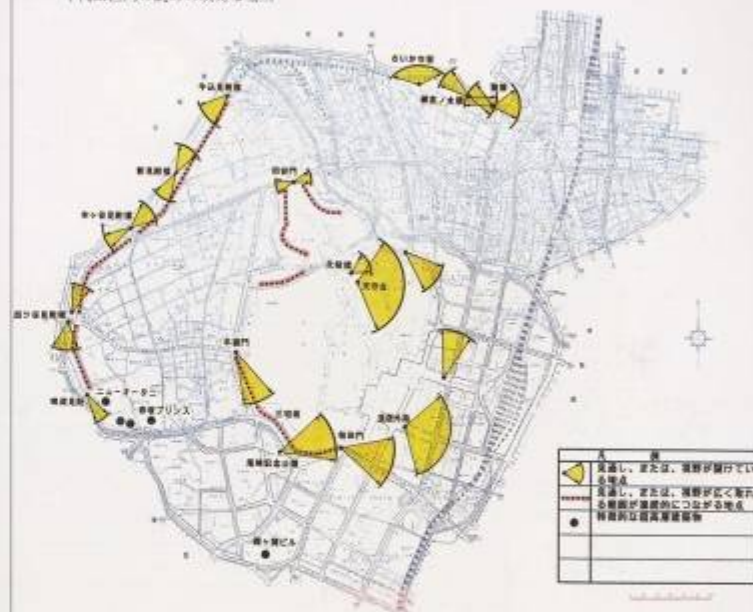
### 対処

眺めの映える場所は閉鎖的な構造にせず、共有の場所として、できるかぎりの配慮をする。また眺めの背景となる建物は目立つ場所にあることを意識して、全体の景観をそこなないように配慮する。

### 手法例

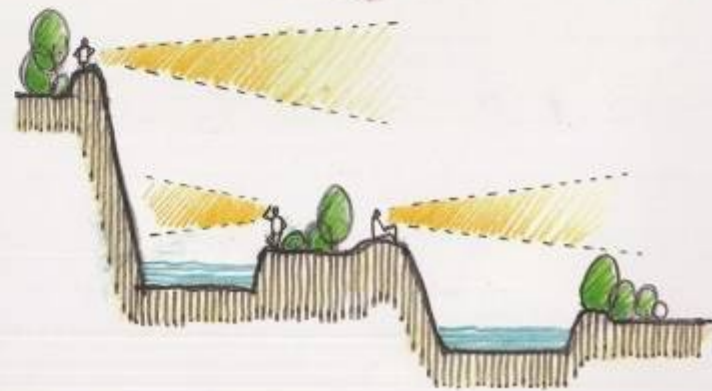
- 眺めの映える場所を建物や工作物で壁のようにおおい隠したりしない。
- 眺めの映える場所が活かされるような歩行者動線を積極的に取り入れる。

千代田区内の眺めの映える場所



### 関連キーワード

- 緑の環 ●32
- 敷地の特性 ●36
- 歩行路のネットワーク ●78
- 目標となる建造物 ●104
- 高さの分節 ●106

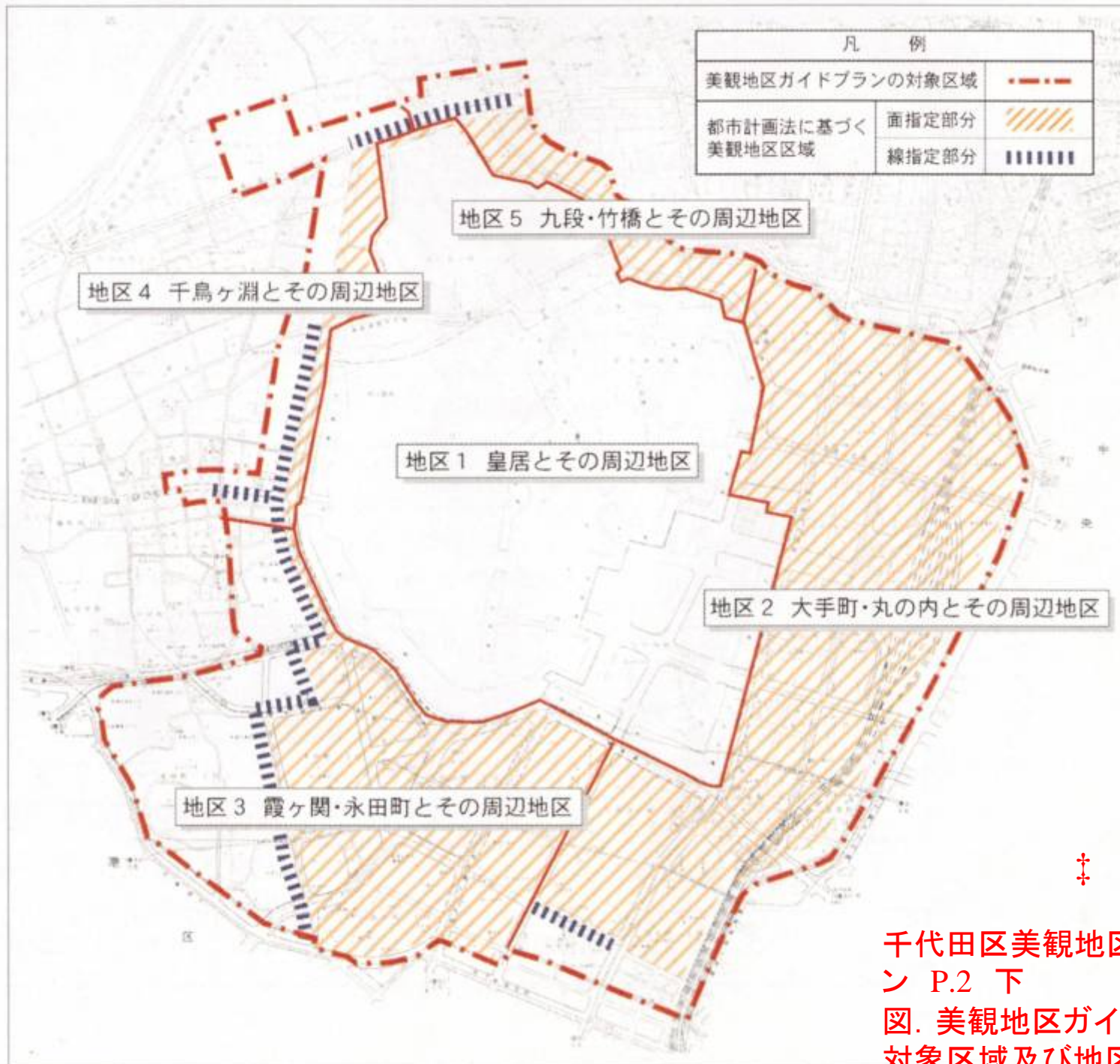


# 千代田区 美観地区 ガイドプラン



千代田区美観地区  
ガイドプラン 表紙

平成14年7月 千代田区



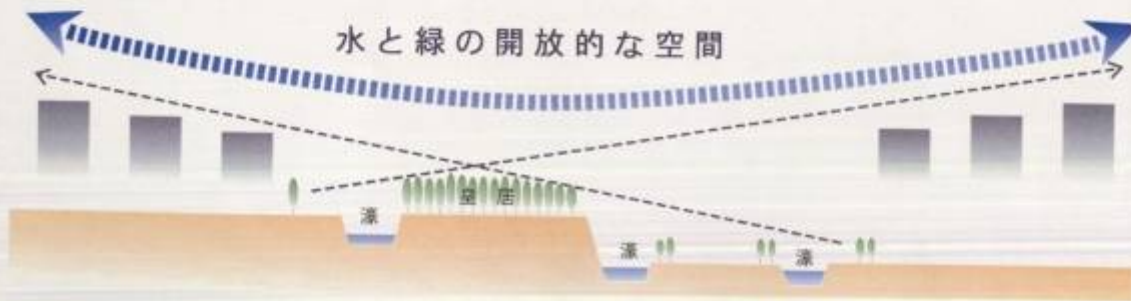
千代田区美観地区ガイドプラン P.2 下

図. 美観地区ガイドプランの対象区域及び地区区分

美観地区の景観方針図



美観地区内のスカイライン



千代田区美観地区ガイドプラン  
P.20 上 美観地区の景観方針図



①永代通り(大手門方向を望む)  
大手門とその背景にある皇居の森がアイストップとなるビスタ景観が形成されている。



②東京駅  
行幸通りからランドマークである東京駅を見る象徴的なビスタ景観。背景となる八重洲側の建物が駅舎のシルエットに重なっている。



③行幸通り(皇居方向を望む)  
正面の皇居の森がアイストップとなるビスタ景観。沿道の並木によって見通しが強調されている。



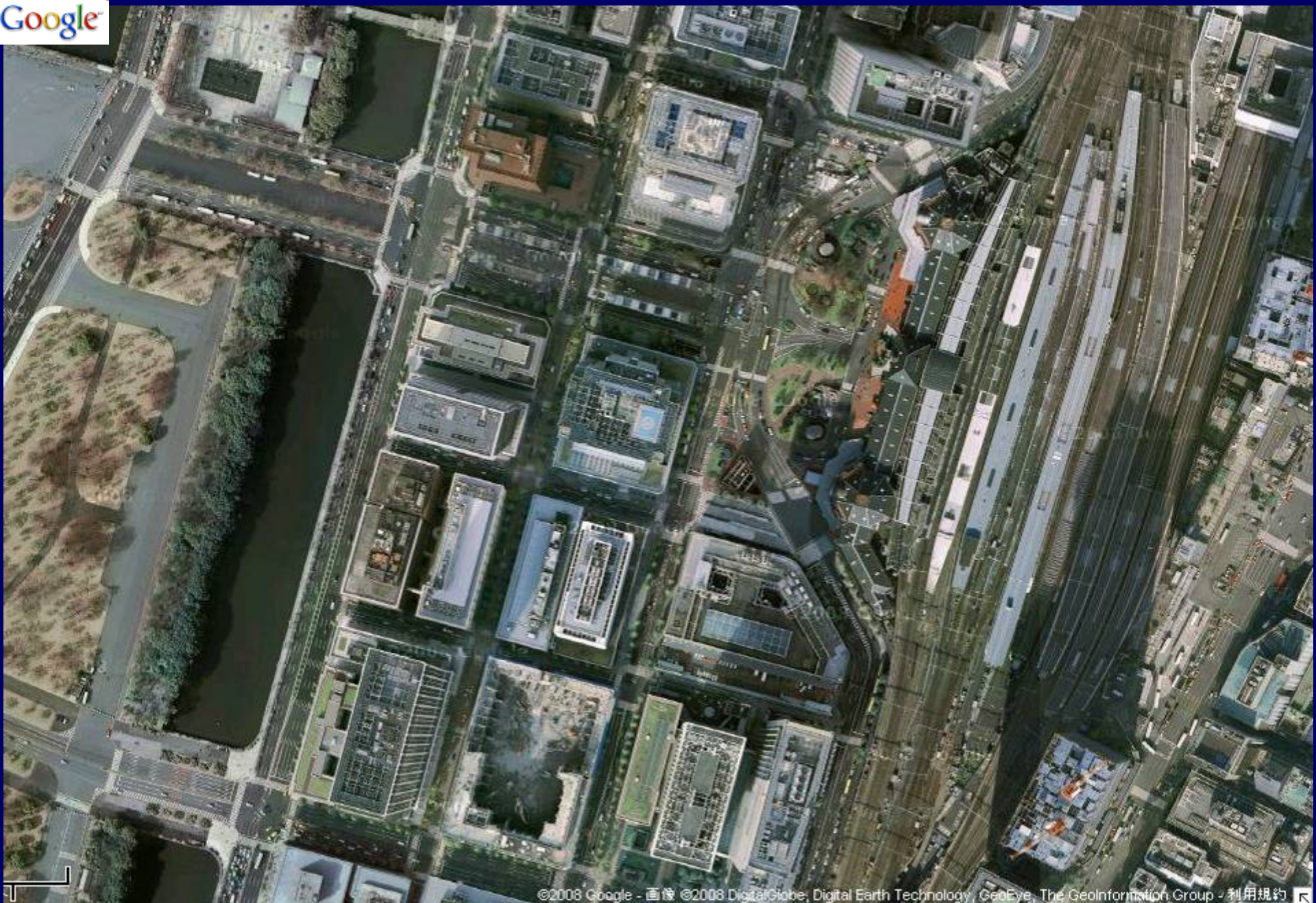
④日比谷公園から丸の内方向  
内濠の水面による開放的な景観、壁面線や軒線の揃った建物群が整然と並ぶ景観があいまって風格ある印象を漂わせている。



千代田区美  
観地区ガイド  
プラン P.40  
②地区の現  
状と特性

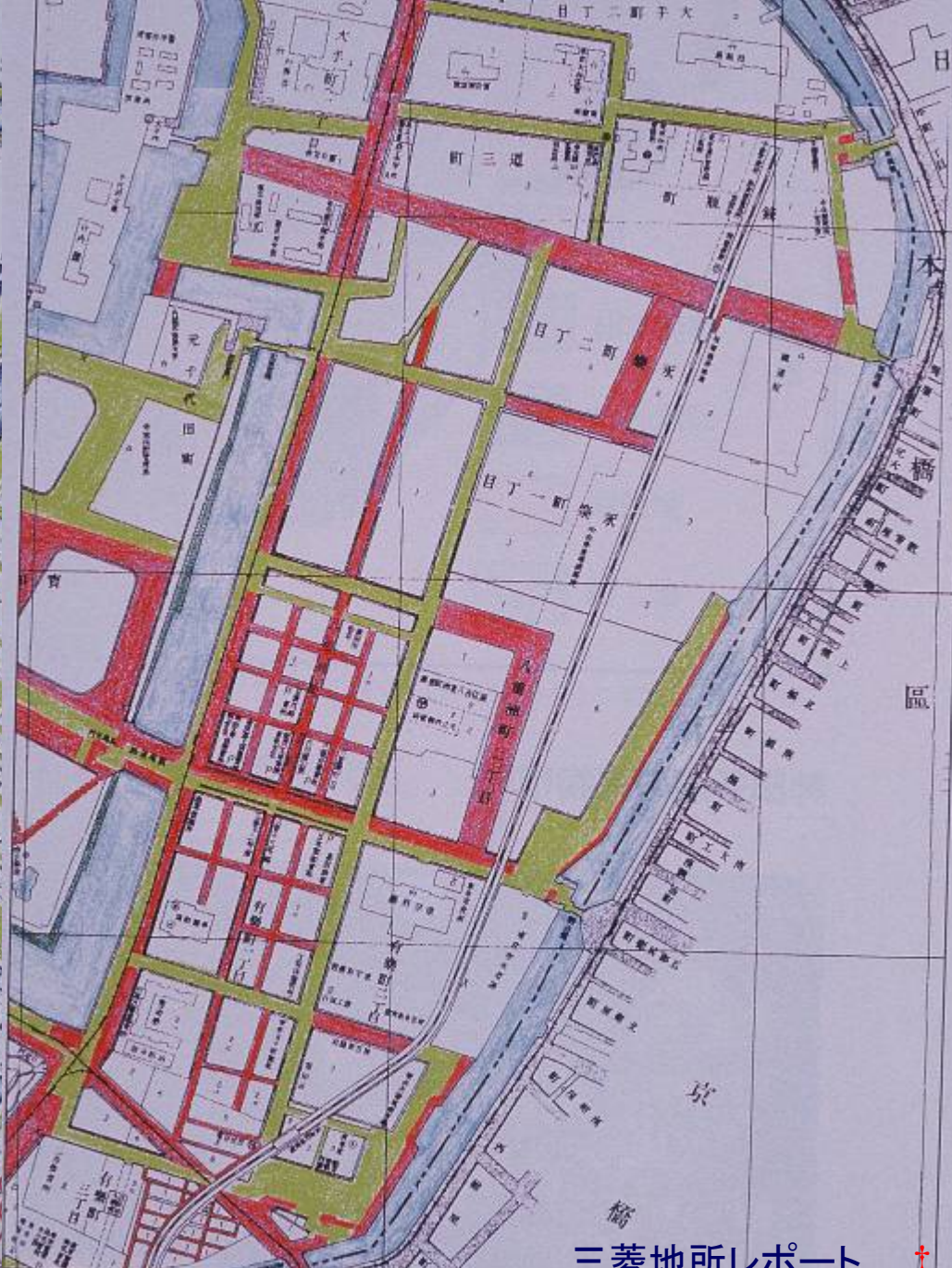
■皇居とその周辺地区の景観方針図



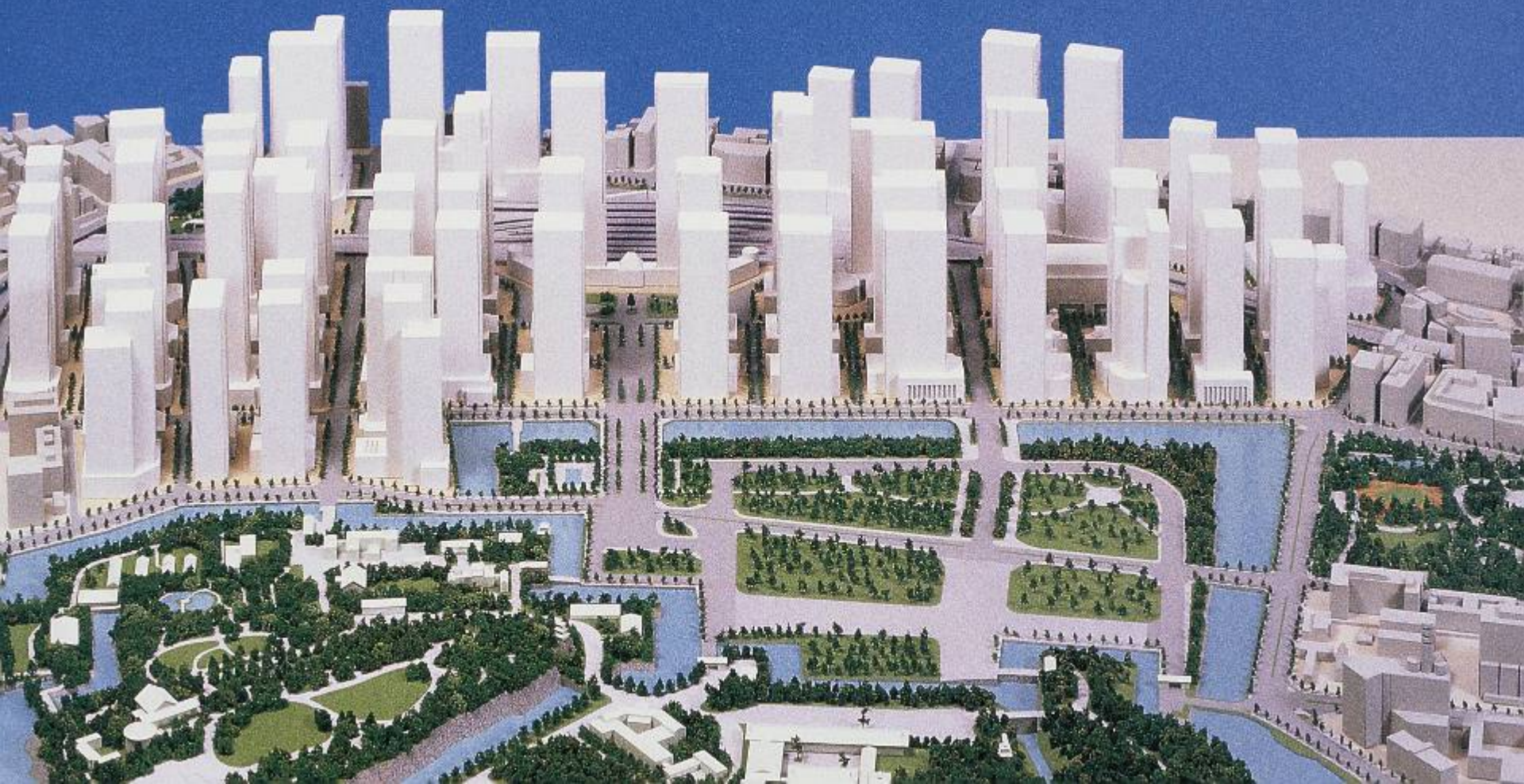


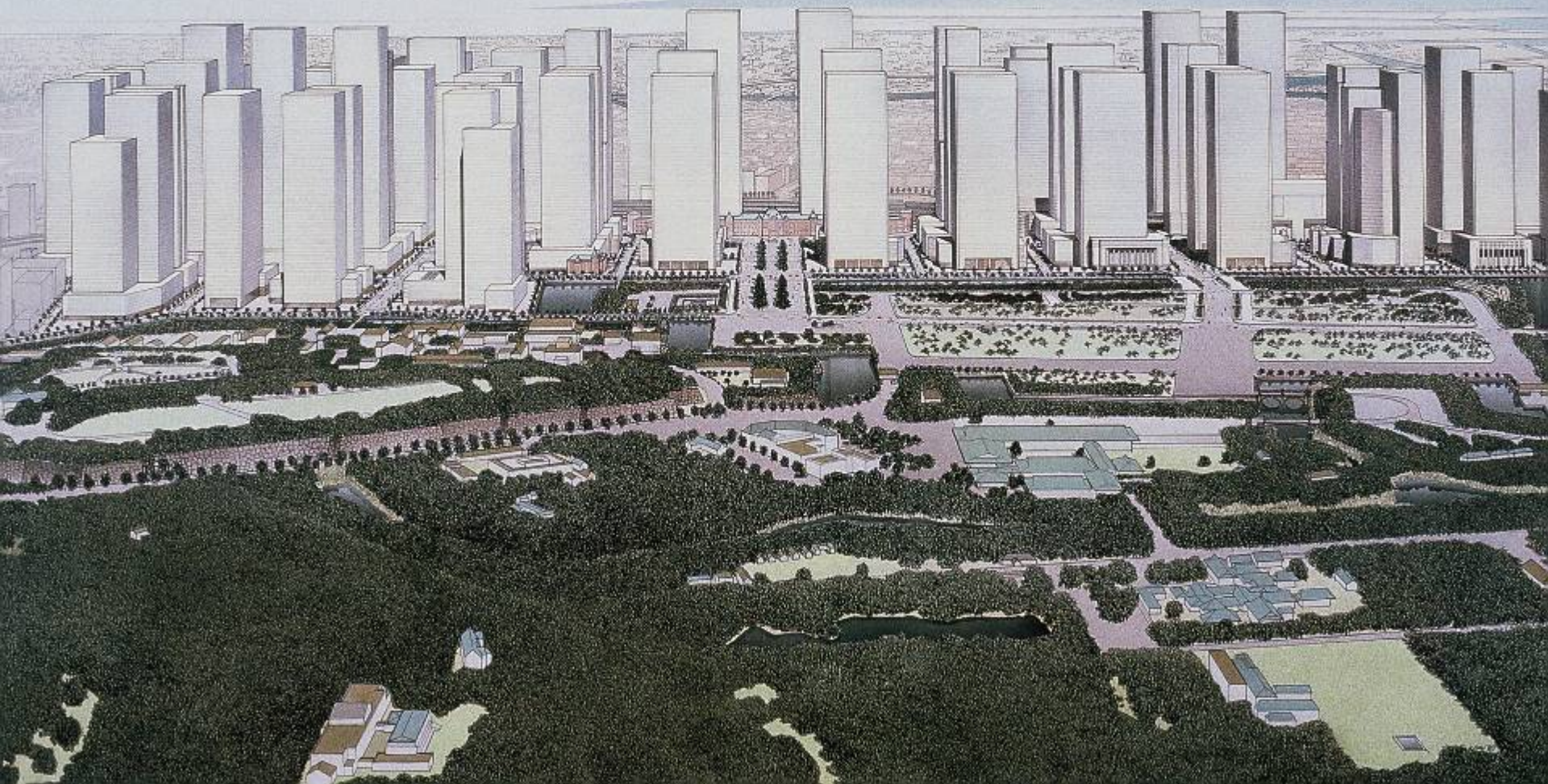


明治18年(1885年)



明治44年(1911年)







大手町・丸の内・有楽町地区  
まちづくり  
ゆるやかなガイドライン



平成 10 年 2 月

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりゆるやかなガイドライン/  
大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン 表紙

OTEMACHI MARUNOUCHI YURAKUCHO  
～ ABLE CITY 新しい可能性と出会える街 ～

大手町・丸の内・有楽町地区  
まちづくりガイドライン



平成 12 年 3 月

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会



7. 整備方針図（ゾーン、軸、拠点）

**有楽町ゾーン**

- 国際化、情報化に対応するとともに、また、東京国際フォーラムなどの一大交流拠点をはじめとする多様な機能の集積、日比谷・銀座方面との機能の連続性を活かすつつ、業務・娯楽機能のより一層の高度化・高質化を進める。
- 文化・芸術・交流・商業等、多くの機能が複合的に集積する現況の地区特性を活かして、土下やサブアーバインのための飲食店や、ショールーム、ギャラリーなどの店舗の誘導によって、賑わいと創造性のあるまちの形成を図る。
- 街路と建物との間に親密感、一体感を醸成し、ヒューマンスケールを創出する。
- JR有楽町線では、街区内に整然と建物が立ち並ぶ特徴を活かし、建物前面の連続性や統一性により街並みに秩序と風格を醸し出す。
- 街区内貫通道路やアトリウム等、屋内公開空間の整備により、街並みの連続性を確保しつつ歩行者空間の多様性と快適性の向上を図る。
- J東横線では、都庁丸の内庁舎跡地の活用を図りつつ、J東横線側や銀座方面との商業、交流機能等の連携、歩行者空間の連続性を図り、交流活動の一層の活性化を進める。
- また適切な外部空間の整備により、開放感の高い空間の形成を図る。

**有楽町拠点**

- 本ゾーン、さらには日比谷、銀座といった一大商業エリアへの玄関口にふさわしく、駅周辺の歩行者空間の環境整備、拡充を行うとともに、建て替えなどに伴い、商業・文化・交流機能等の充実を図る。

**主要な東西道路**

- 拠点と公開、歴史的建築物、活性化施設等を結ぶ通りや、劇場、ホール、大規模商業施設等の連なる通りについては、歩行者の快適性を高めた整備を図る。

**JR高架周辺**

- 赤レンガアーチ高架の外観の活用や店舗等の導入を行いながら、快適な歩行者空間への環境整備を図る。

**晴海通り：商業・交流・アミューズメント軸**

- 霞と間、内幸町方面から続くビジネス街の顔として、また、日比谷、銀座方面の賑わいエリアの拠点としてふさわしい機能を導入していく。
- 霞と間方面、銀座方面からのアイストップとなる、特徴ある空間を整備していく。

**凡例**

ゾーン	ゾーン
拠点	拠点
駅前広場 (駅前広場の位置を示す)	駅前広場 (駅前広場の位置を示す)
日比谷通り	日比谷通り
仲通り	仲通り
大老小路	大老小路
行幸通り	行幸通り
丸の内通り	丸の内通り
永代通り	永代通り
晴海通り	晴海通り
日本橋川沿い	日本橋川沿い
●●●●●	主要な東西道路
○	JR高架周辺

**日比谷通り・内堀通り：都心景観軸**

- 皇居外苑、東御苑やお濠に面した景観と周辺建築物に配慮したファサードを演出することにより、全体として調和のとれた秩序と風格のある街並みを形成する。
- 日比谷通りでは、街区内に整然と建物が立ち並ぶ現在の街並みの構造を尊重し、優れた景観を持つ地区として、スカイラインの統一性に配慮した整備を進める。

**馬場先通り：歴史・文化・交流軸**

- 街区内に整然とした建物が立ち並ぶ街並みに配慮し、歴史的建築物の保存・活用を図る。

**仲通り：アメニティ・賑わい軸**

- 本地区を南北に貫くビジネス活動、アメニティ活動の基軸であり、永代通りの多層・複層機能や晴海通りの交流系機能といった特徴ある東西軸との機能連携を図りながら、活力と賑わいを醸成していく。
- アメニティ・賑わい空間および安全性、快適性に配慮した街路環境の創出、整然と立ち並ぶ建物とその店舗部への店舗の誘導等により、アメニティ・賑わい軸として再構築していく。
- 有楽町方面、拠点とその周辺部においては、日比谷・銀座方面とも連携した回遊性の高い空間となるよう、まちの活動、環境の連続性に配慮する。

**行幸通り：景観軸**

- 東京駅と皇居を結ぶ行幸通りの景観は、当地区を最も特徴づける街並みであり、象徴性を維持しながら、風格ある空間構成の継承を図る。
- 街路構成に配慮し、緑地、舗装、ストリートファニチャーを整備することにより、人々が自由に歩きまわることにも、親しみやすい街路とする。

**大老小路：業務・交流軸**

- 大手町拠点、丸の内拠点、有楽町拠点を結び、人の流れを誘導する主要な軸として、歩行者空間の充実を図る。
- 丸の内ゾーンでは駅前広場周辺を中心に風格のある景観のイメージを継承し、街並みに調和した、整然とした歩行者空間の形成を図る。

**永代通り：金融・情報軸**

- 忠町とつながる金融・情報軸として、経済中核機能の集積を図るとともに、情報センターや窓口業務など、様々な人がとぎれる機能の充実を進め、通りと一体となった空間づくりを図る。
- 空地整備とそれに沿ったネットワーク化を図り、快適な歩行者空間の充実に努める。

**大手町ゾーン**

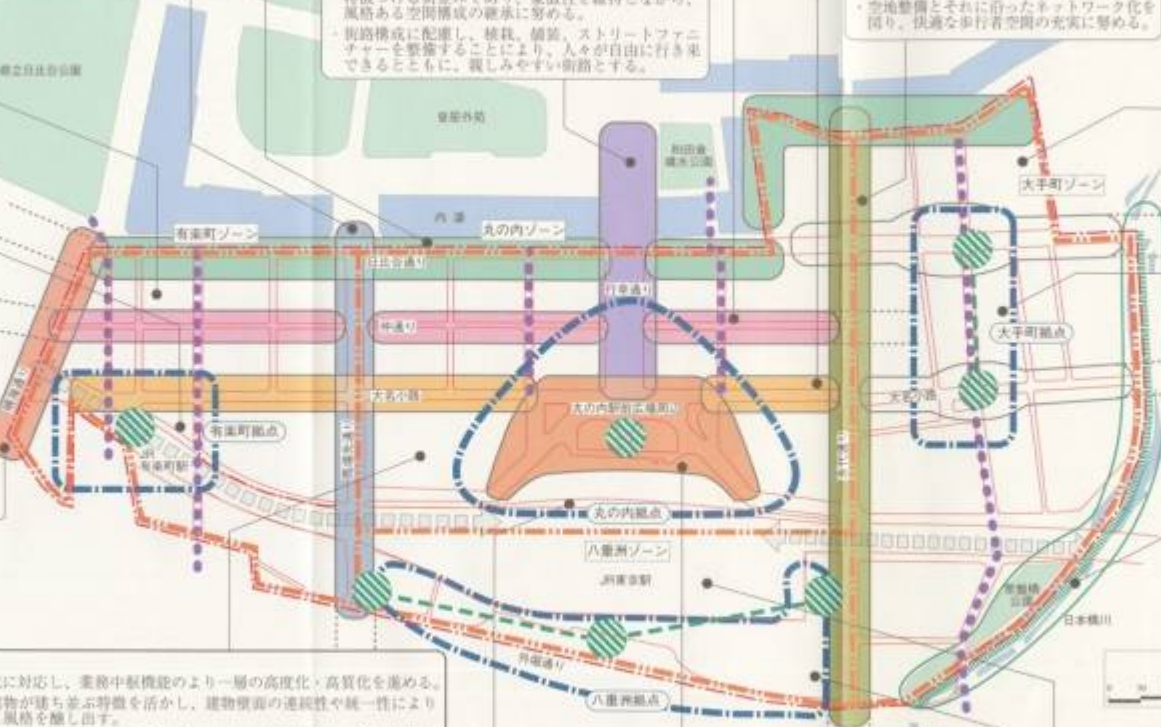
- 金融・経済中核機能の集積という地区特性の維持・強化に努め、国際化・高度情報化に対応する。
- 報道・情報通信系企業集積による情報発信機能、ホール・会議施設・宿泊施設などの文化・交流機能の充実を図る。
- 建物と広場とによって構成される、動的、開放的な都市空間による賑わいを、維持・発展させる。
- 既存の空地や、建て替えに伴い生み出される空地を積極的に確保・集約させ、人がとぎれる、活動的に豊かな広場の空間を形成する。
- 広場やランニングガーデンの配置や、これらと地下鉄との接続等に配慮し、分かりやすい形の構造を形成することにも、歩行者動線の円滑化を図る。
- 日本橋川沿いの大街区は、大規模な機能更新の可能性のあるエリアであり、再開発を契機に、ホテル機能や居住機能の誘導や、国際交流をリードするといった方向性も含め、今後このエリアの将来像、それを実現化する手法等について検討を進める。

**大手町拠点**

- 地下鉄5層が乗り入れる交通結節点として、駅相互や地上・地下の連絡・連携を強化する。
- 文化・交流施設の充実に努めるとともに、ランニングガーデンやアトリウムに、飲食・物販施設やインフォメーションセンターなどを併設する等により、開放性の高い、賑わいのある広場の空間の整備を図る。

**日本橋川沿い：水辺親水軸**

- 日本橋川沿いの都市計画道路の整備に伴い、親水空間を形成する等の環境整備を進める。



**丸の内ゾーン**

- 国際化、情報化に対応し、業務中核機能のより一層の高度化・高質化を進める。
- 街区内に整然と建物が立ち並ぶ特徴を活かし、建物前面の連続性や統一性により街並みに秩序と風格を醸し出す。
- 街路と建物との間に親密感、一体感を醸成し、ヒューマンスケールを創出する。
- 街路レベル等に、物販・飲食店舗、ギャラリー、ショールームといった文化・交流・活性化施設等を誘導することにより、賑わいを演出する。
- 街区内貫通道路やアトリウム等、屋内公開空間の整備により、街並みの連続性に配慮しつつ歩行者空間の多様性と快適性の向上を図る。

**丸の内拠点**

- 規模・構えとともに国内有数である駅前広場と、それを取り囲む両側の大街区に整然と立ち並ぶ建物群とによって醸し出される、象徴的で風格のある景観の継承・再構築に努める。
- 主要な交通結節点であり、また歩行者ネットワークの核である丸の内拠点を、乗客、事業者が気軽に集い、憩えるような、緑地を含み、利用しやすい空間として整備する。
- 東京駅駅前という立地特性を活かし、国内外の企業間等の情報交換を可能とする、様々な人びとに開かれたまちとするため、商業・飲食・宿泊など、文化・交流・活性化施設の誘導を行い、多様な機能の集積を図る。

**丸の内駅前広場周辺**

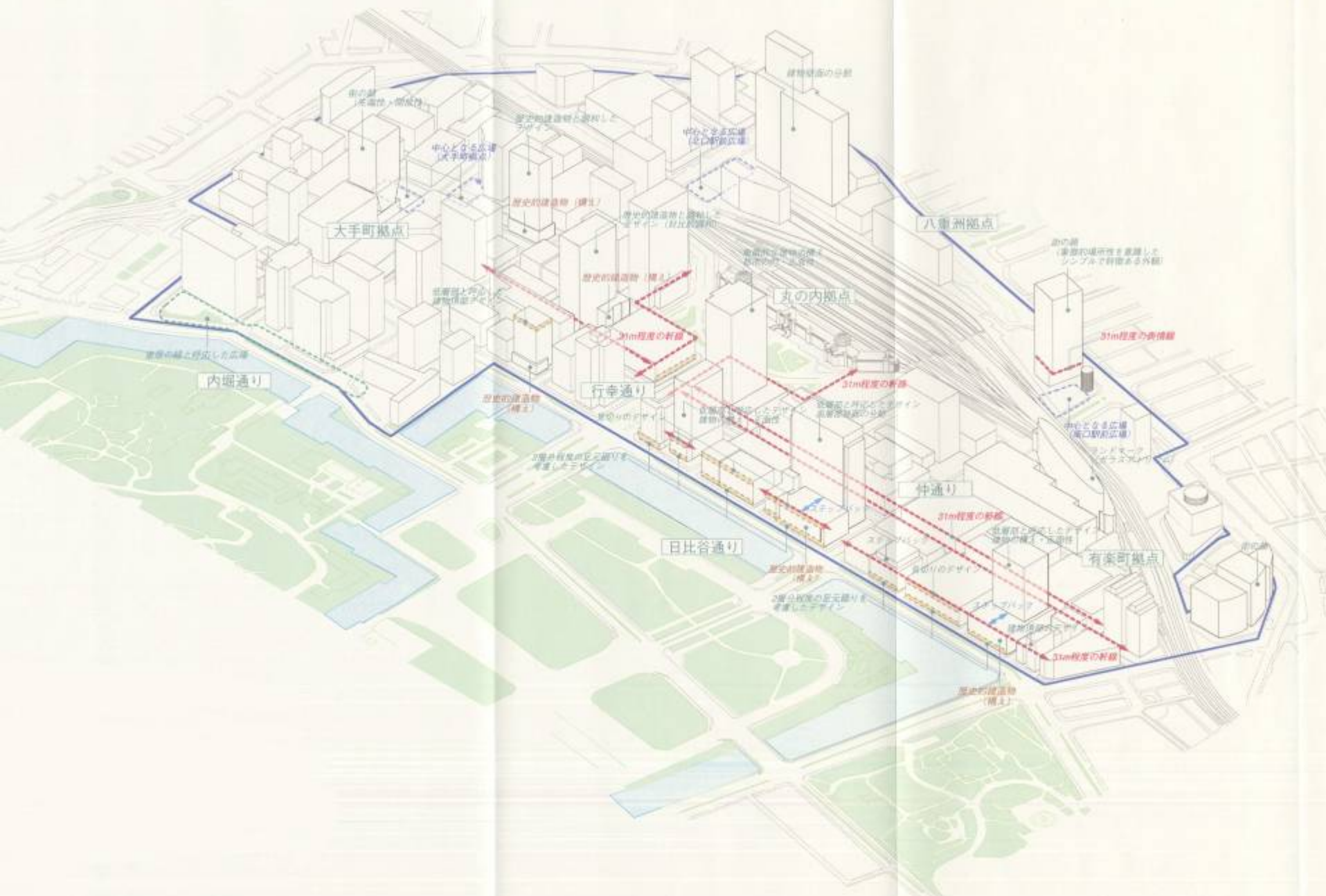
- 本地区の「表玄関」として、また、観光拠点として、多様な人々のニーズに対応する、観光等の情報提供機能の充実を図る。
- 周辺ビル等の機能更新や広場の環境整備を進め、周辺ビルが各々の個性を発揮しつつも、全体として整然とし、かつ、本地区の景観形成をリードしていくアートを備えた象徴的な景観を形成していく。
- 皇居の前面の空間にふさわしい象徴性を備えた、思いと高いのある広場として、プロトコール機能、緑等の環境機能、交通機能が調和した空間として整備する。
- 丸の内駅舎や、駅前広場、行幸通りについて、地上・地下にわたる再整備を図る。

**八重洲ゾーン**

- 交通ターミナル機能や業務機能の一層の充実を図るとともに、既存施設と併せて、商業施設や宿泊施設などを誘導し、商業や交流機能の強化に努める。
- 地上および地下の歩行者ネットワーク、丸の内と八重洲間を結ぶ東西自由道路の整備を行う。
- 建物と広場とによって構成される、動的、開放的な都市空間による賑わいを、維持・発展させる。

**八重洲拠点**

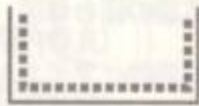
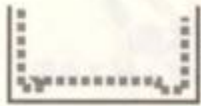
- 周辺建築物の建て替え等にあわせて、広場の整備を行うとともに、歩行者動線の円滑な接続を検討する。



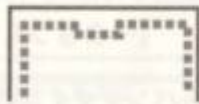
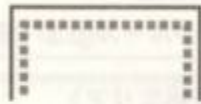
## ■街並み形成型まちづくりのイメージ

### 「街並み調和型」

(丸の内駅前広場、行幸通り、日比谷通り)

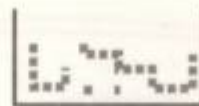


- ・ 風格・統一感
- ・ 壁面の連続性

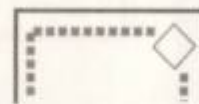
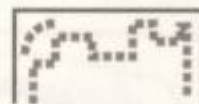


### 「賑わい形成型」

(仲通り)



- ・ 賑わい、憩い
- ・ 文化・交流・活性化機能等の連続

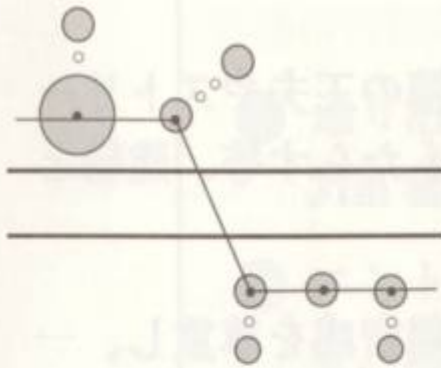


日比谷通り沿いの景観



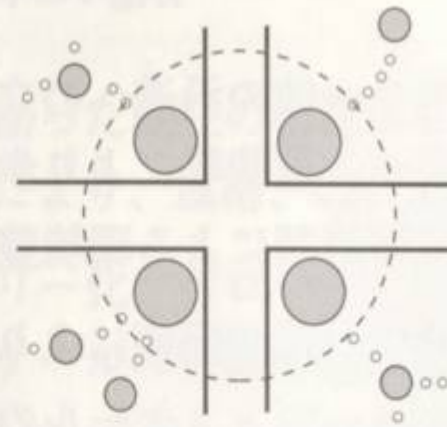
仲通りの賑わい

## ■公開空地ネットワーク型まちづくりのイメージ



「空地連続型」

- ・空地の連続的配置
- ・貫通通路の設置



「空地集約型」  
(大手町拠点)

- ・空地の集約的配置
- ・地上・地下の一体的整備



サンクンガーデン



拠点広場

## 6. 東京を代表する公的空間の整備

### (1) 丸の内駅前広場～行幸通り

- 日本の表玄関である東京駅から皇居にかけての地域において、赤レンガ駅舎の創建当時の姿への復元や駅前広場の整備、行幸通りの景観整備など都心再生へ向けて積極的に進める。
- 東京駅丸の内駅前広場～行幸通り～皇居に至る公的空間は空の広がる一体な都心のボイド空間としてとらえ、行幸通りを通じて皇居の緑を引き込む等、快適な環境を整備していく。

■丸の内駅前広場～行幸通りイメージ図



■行幸通りと復元された赤レンガ駅舎のイメージ

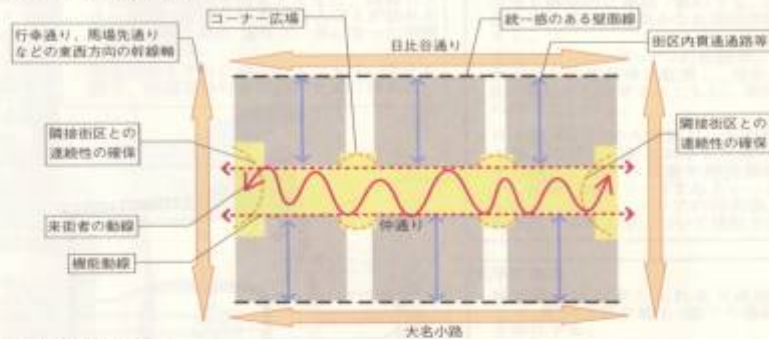


東京都「危機突破・戦略プラン」より

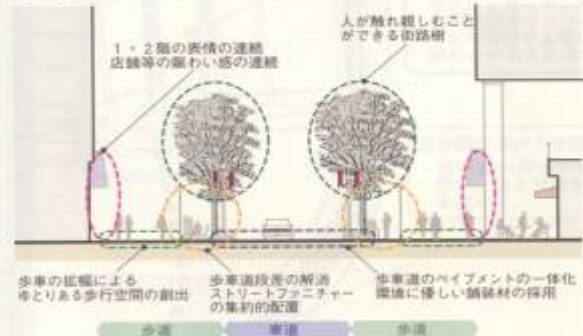
### (2) 仲通り

- 本地区を南北に貫くビジネス活動・アメニティ環境の基軸である仲通りは、安全性・快適性・利便性に配慮し、ゆとりある歩行者空間の整備、店舗ファサードやストリートファニチャー等による賑わい感の創出、緑の再整備等街路環境のトータルデザインとして整備を進める。

■仲通りコンセプト図



■仲通り断面イメージ



■仲通りイメージパース

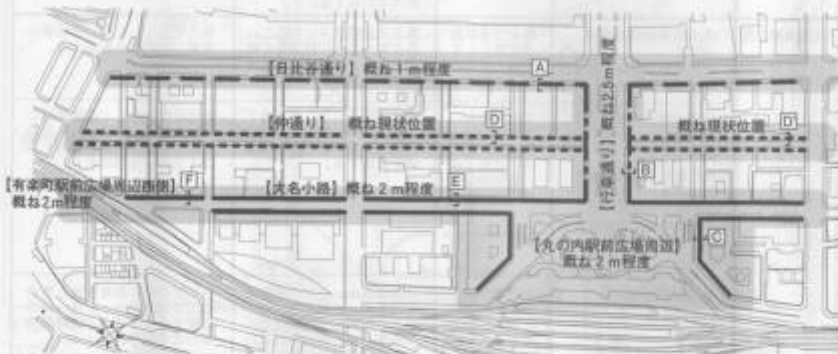


## 図：壁面位置について

ページ 111 (計画) 112 (計画) 113 (計画) 114 (計画) 115 (計画) 116 (計画) 117 (計画) 118 (計画) 119 (計画) 120 (計画) 121 (計画) 122 (計画) 123 (計画) 124 (計画) 125 (計画) 126 (計画) 127 (計画) 128 (計画) 129 (計画) 130 (計画) 131 (計画) 132 (計画) 133 (計画) 134 (計画) 135 (計画) 136 (計画) 137 (計画) 138 (計画) 139 (計画) 140 (計画) 141 (計画) 142 (計画) 143 (計画) 144 (計画) 145 (計画) 146 (計画) 147 (計画) 148 (計画) 149 (計画) 150 (計画) 151 (計画) 152 (計画) 153 (計画) 154 (計画) 155 (計画) 156 (計画) 157 (計画) 158 (計画) 159 (計画) 160 (計画) 161 (計画) 162 (計画) 163 (計画) 164 (計画) 165 (計画) 166 (計画) 167 (計画) 168 (計画) 169 (計画) 170 (計画) 171 (計画) 172 (計画) 173 (計画) 174 (計画) 175 (計画) 176 (計画) 177 (計画) 178 (計画) 179 (計画) 180 (計画) 181 (計画) 182 (計画) 183 (計画) 184 (計画) 185 (計画) 186 (計画) 187 (計画) 188 (計画) 189 (計画) 190 (計画) 191 (計画) 192 (計画) 193 (計画) 194 (計画) 195 (計画) 196 (計画) 197 (計画) 198 (計画) 199 (計画) 200 (計画)

街並み形成型のエリアにおいて重要な通り・広場沿いでは、現況建物の壁面位置や現在形成されている空地等も尊重しながら、建物低層部壁面のセットバックにより、「植栽領域」、将来の歩行者交通に対応した「歩行空間領域」、彫刻やベンチ等のストリートファニチャーを設置するための「アメニティ領域」を確保する。

なお、断面構成としては、植栽領域：概ね1.5m程度、歩行者空間領域：概ね4.0m程度、アメニティ領域：概ね1m程度を標準とする。(既存の歩道部分を含む)



○日比谷通り (A 断面)



○行幸通り (B 断面)



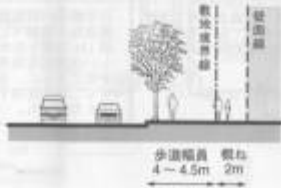
○丸の内駅前広場周辺 (C 断面)



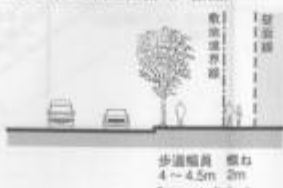
○仲通り (D, D' 断面)

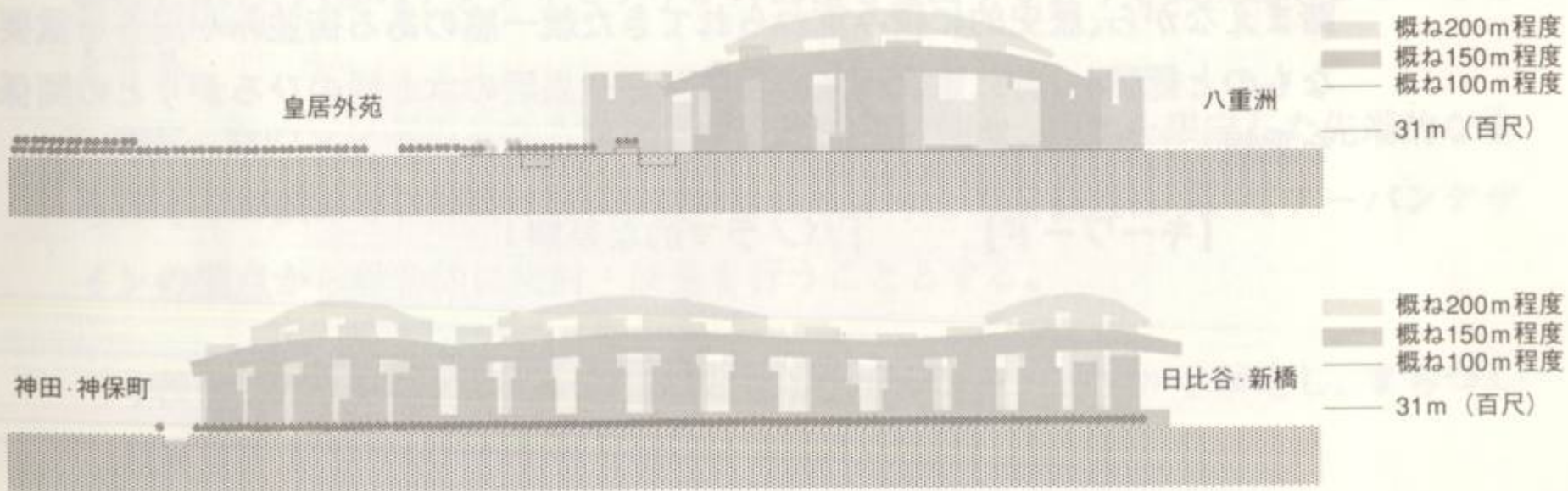


○大名小路 (E 断面)



○有楽町駅前広場周辺西側 (F 断面)





図：スカイラインのイメージ

# 明治生命館と背後の再開発

JR 東京駅

皇居外苑

当該計画敷地

中央郵便局

東京国際  
フォーラム

著作権処理の都合で、この場所に挿入  
されていた図は削除されました。











皇居

桔梗門

坂下門

二重橋

M

東京駅

日比谷濠



日本工業倶楽部



日本工業倶楽部会館 写真

<http://www.shimz.co.jp/tw/works/01office/images/200305nihonkogyo.jpg>

(<http://www.shimz.co.jp/tw/works/01office/200305nihonkogyo.html>)

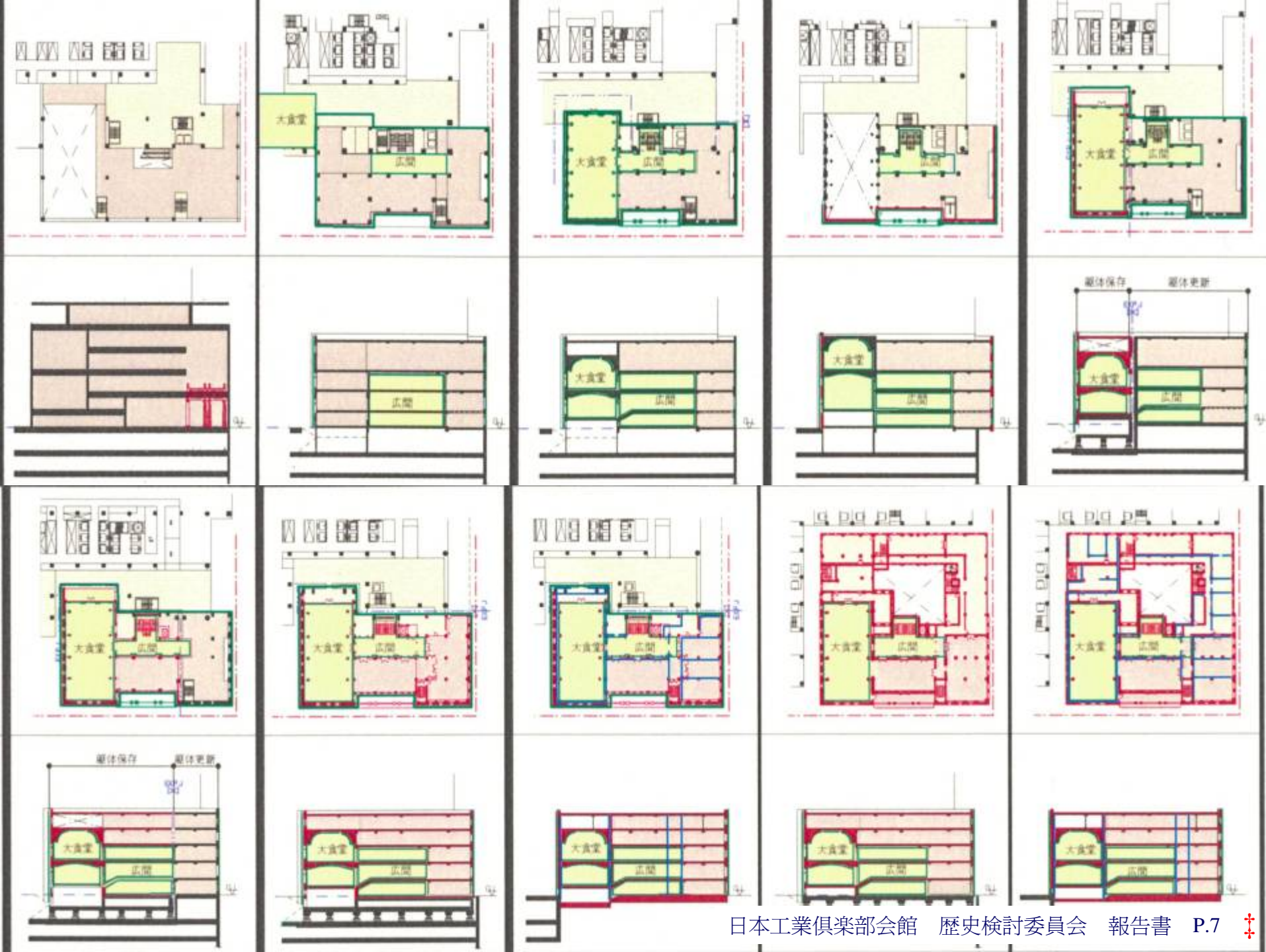



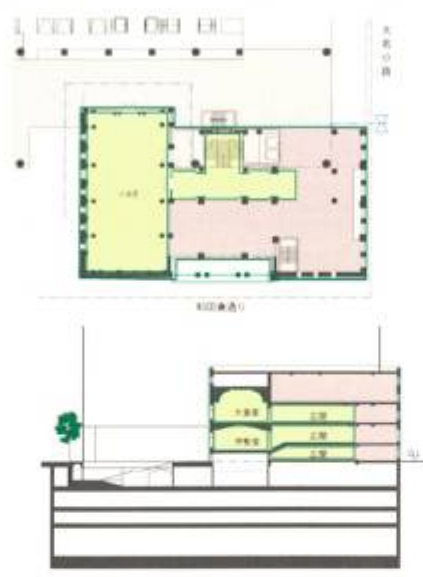
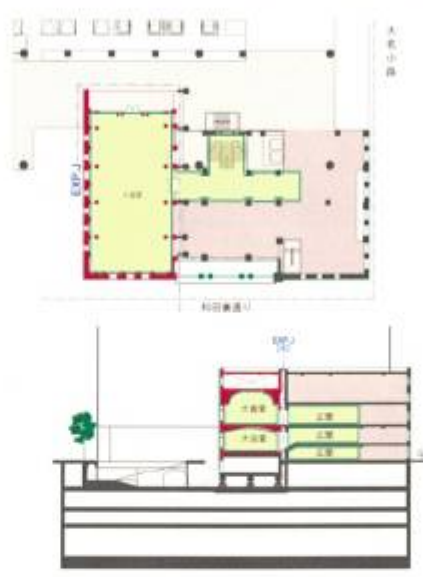
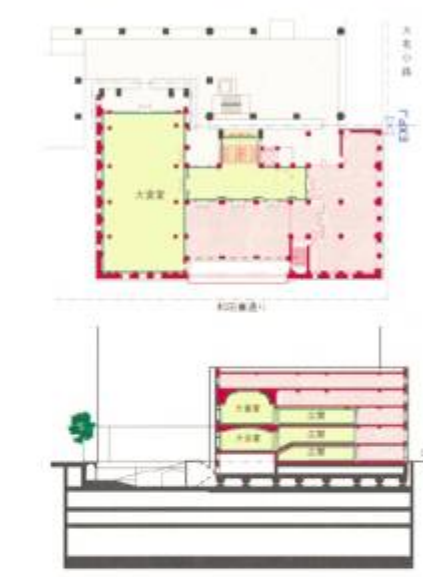




保存建替手法については、保存の方法から  
 ティピカルな5ケースを取り上げ議論した。  
 その後、構造上の問題、保存部分の範囲、  
 内部重要エリアの尊重などによってバリエ-  
 ションが増え全10案となった。  
 10案に対して、歴史、構造、機能更新上の考え方、  
 問題点について明らかにした。

検討案の系統図



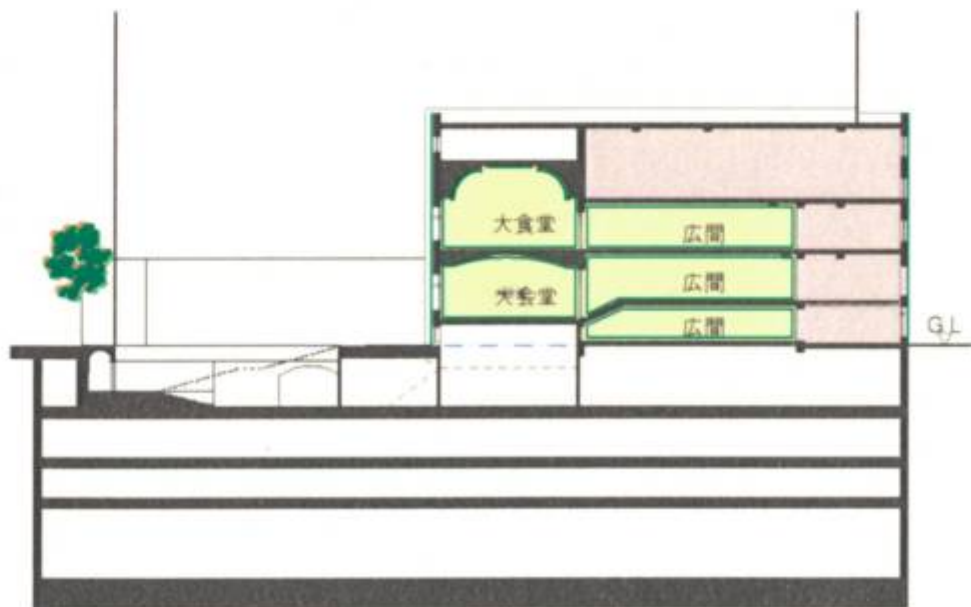
TYPE	新デザイン		躯体更新		外壁保存	部分保存				全保存	
	A	B	B-2	C	D-2	D-1	D	D'	E	E'	
概念図	3階平面										
	東西断面										
歴史継承の考え方	外部	新デザイン ドリックオーダーは 保存適用	倶楽部・外壁を再現 (窓位置一部変更)	倶楽部・外壁を再現	倶楽部・外壁を 保存修復	倶楽部・外壁 1/3保存修復 2/3再現	倶楽部・外壁 2/3保存修復 1/3再現	倶楽部・外壁 3/3保存修復	倶楽部・外壁 3/3保存修復 (西面に構造補強)	全外壁保存修復	全外壁保存修復
	内部	保存継承無し	内部重要エリアを再現 (プランは一部変更)	内部重要エリアを再現 (プランは踏襲)	内部重要エリアを再現 (プラン変更)	内部重要エリア 1/3保存修復 2/3再現	内部重要エリア 2/3保存修復 1/3再現	内部重要エリア 3/3保存修復	内部重要エリア 3/3保存修復	内部重要エリア 保存修復	内部重要エリア 保存修復
構造	躯体補強	躯体は更新	躯体は更新	躯体は更新	保存外壁に構造補強。 1スパン地下は現基礎。 保存以外の躯体は更新	倶楽部部分 1/3躯体を 免費により保存。 保存以外の躯体は更新	倶楽部部分 2/3躯体を 免費により保存。 以外の躯体は更新	倶楽部部分 3/3躯体を 免費により保存 以外の躯体は更新	倶楽部躯体を構造 補強により保存。	全体を免費により 保存。	全体を構造補強により 保存。
	工法				外壁1スパン残した工事	変家工事必要なし	変家工事必要	変家工事必要	変家工事必要なし	変家工事必要	変家工事必要なし
機能更新	計画の自由度				外壁保存部による制約あり (窓位置、地下利用)	保存による制約有 (接合部、地下)	保存による制約有 (接合部、地下、高層 構計画)	保存による制約有 (接合部、地下、高層 構計画)	保存による制約有 (接合部、地下、高層 構計画)	現構造による制約あり (柱壁、階高)	現構造による制約あり (柱壁、階高)
	設備・防災				保存外壁の構造補強に よる室内空間に影響あり	防災波及、設備更新に 対応しながら、内部の 変わらぬ空間性を確保	防災波及、設備改修に よる空間性の変更有り (大階段の区画等)	防災波及、設備改修に よる空間性の変更有り (大階段の区画等)	防災波及、設備改修に よる空間性の変更有り (大階段の区画等)	防災波及、設備改修に よる空間性の変更有り (大階段の区画等)	防災波及、設備改修に よる空間性の変更有り (大階段の区画等)
	保守管理				タイル点検補修が継続	外壁1/3にタイル点検補 修が継続	外壁2/3にタイル点検補 修が継続	タイル点検補修が継続	タイル点検補修が継続	タイル点検補修が継続	タイル点検補修が継続
問題点	歴史継承の観点 からは不適切	内部重要エリアのプラン が変わる点に問題あり。 タイルは再現によりオリ ジナル性が落ちる。	タイルは再現によりオリ ジナル性が落ちる。	外壁保存による、内部 の制約がある。 異種基礎の問題あり。 タイル保存により割断 落下の危険性がある。	タイル再現部分はオリ ジナル性が落ちない。 タイル保存部分は割断 の危険性がある。	Dに対してコスト・工 約が多大。 タイル保存部分は割断 の危険性がある。	タイル保存により割断 の危険性がある。	構造補強による タイル保存により割断 の危険性がある。	新ビルへの制約も大き く共同事業が成立 しない。 タイル保存により割断 の危険性がある。	新ビルへの制約も大き く共同事業が成立 しない。 タイル保存により割断 の危険性がある。	

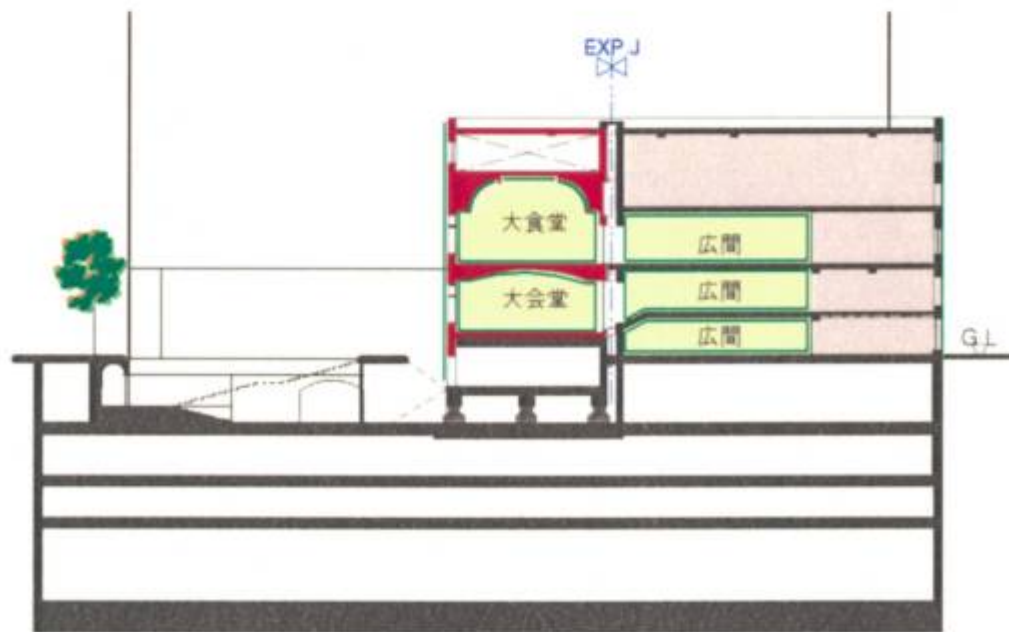


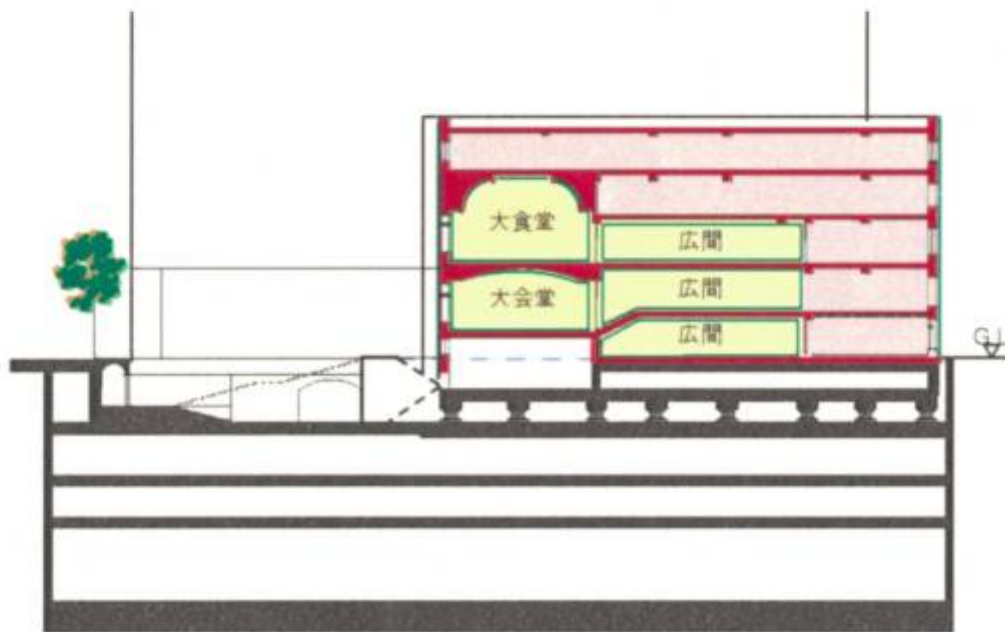
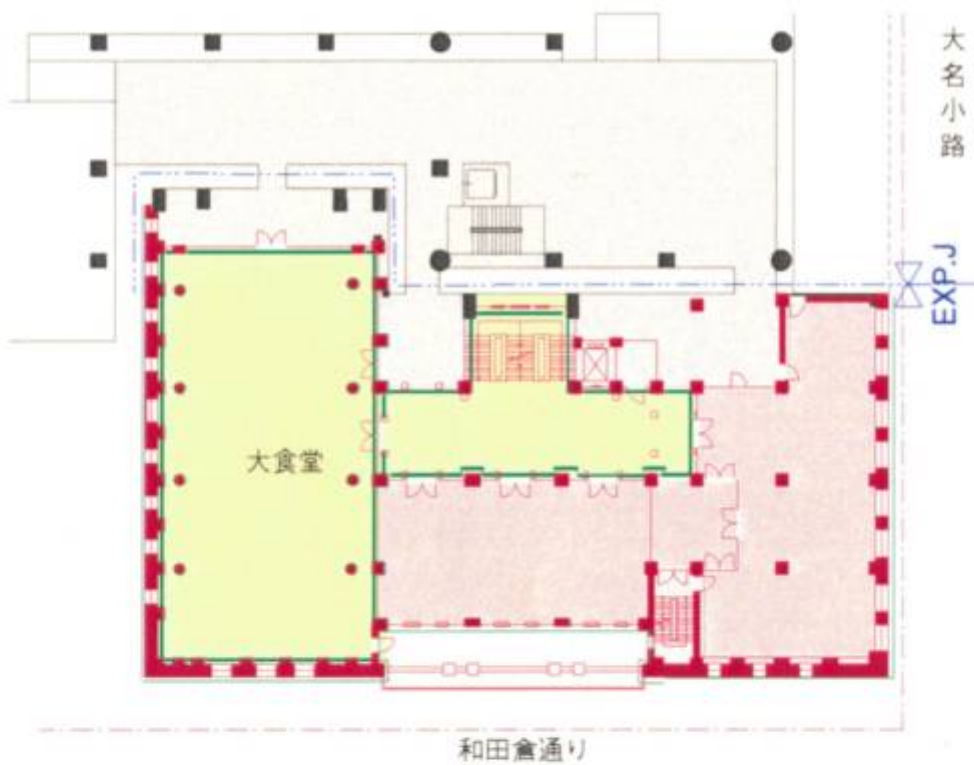
	TYPE B-2 仕上げ再現/躯体更新	TYPE D-2 仕上げ保存/躯体保存・更新	TYPE D 仕上げ保存/躯体保存	
<p>平面図 (3階)</p> <p>断面図 (東西)</p> 				
内部歴史継承の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=玄関、広間、大階段、大食堂等</li> <li>・できる限り現仕上材を保存活用し、漆喰等は再現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=玄関、広間、大階段、大食堂等</li> <li>・大食堂は保存修復、以外ではできる限り現仕上材を保存活用し、漆喰等は再現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=玄関、広間、大階段、大食堂等</li> <li>・エリア1は保存修復。他は新築または改修。</li> </ul>	
躯体保存の考え方	更新とし、保存しない。	倶楽部部分の西側1/3を保存。	倶楽部部分を保存。	
立面図 (南面)				
外部歴史継承の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=倶楽部部分。</li> <li>・できる限り現仕上材を保存活用し、タイルは再現する。</li> </ul> <p>保存修復部位：玄関ゴーチ、基礎、彫像、曲形装飾 再現部位：タイル、テラコッタ 更新部位：サッシュ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=倶楽部部分。</li> <li>・正面左1/3の外壁は保存修復。以外では、できる限り現仕上材を保存活用し、タイルは再現する。</li> </ul> <p>保存修復部位：基礎、彫像、タイル(1/3) テラコッタ(1/3)、曲形装飾 再現部位：タイル(2/3)、テラコッタ(2/3) 更新部位：サッシュ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲=倶楽部部分。</li> <li>・倶楽部部分の外壁は保存修復。</li> </ul> <p>保存修復部位：基礎、彫像、タイル、テラコッタ、曲形装飾 再現部位：— 更新部位：サッシュ。</p>	



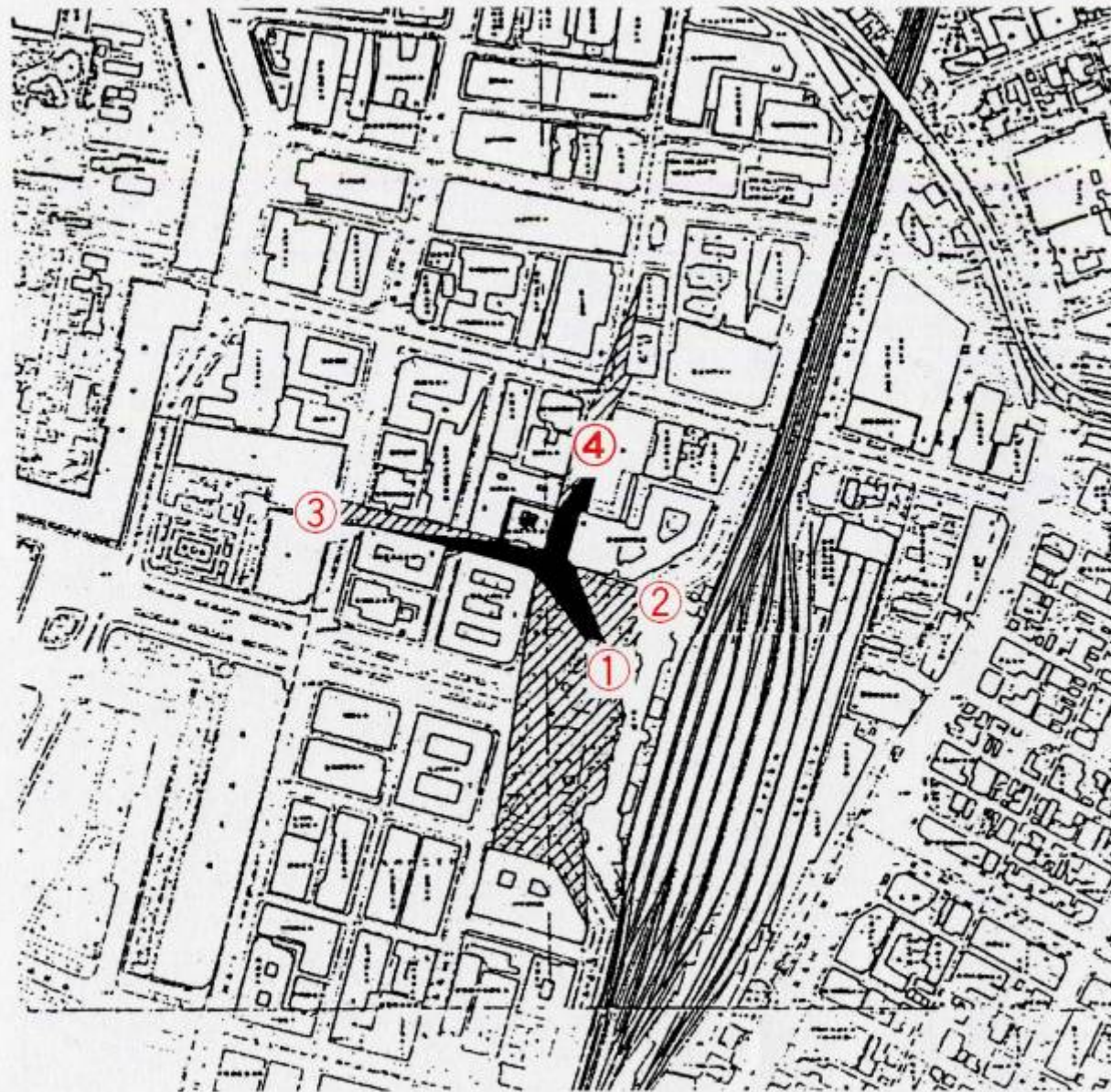
和田倉通り







# 景観上の重要なポイント

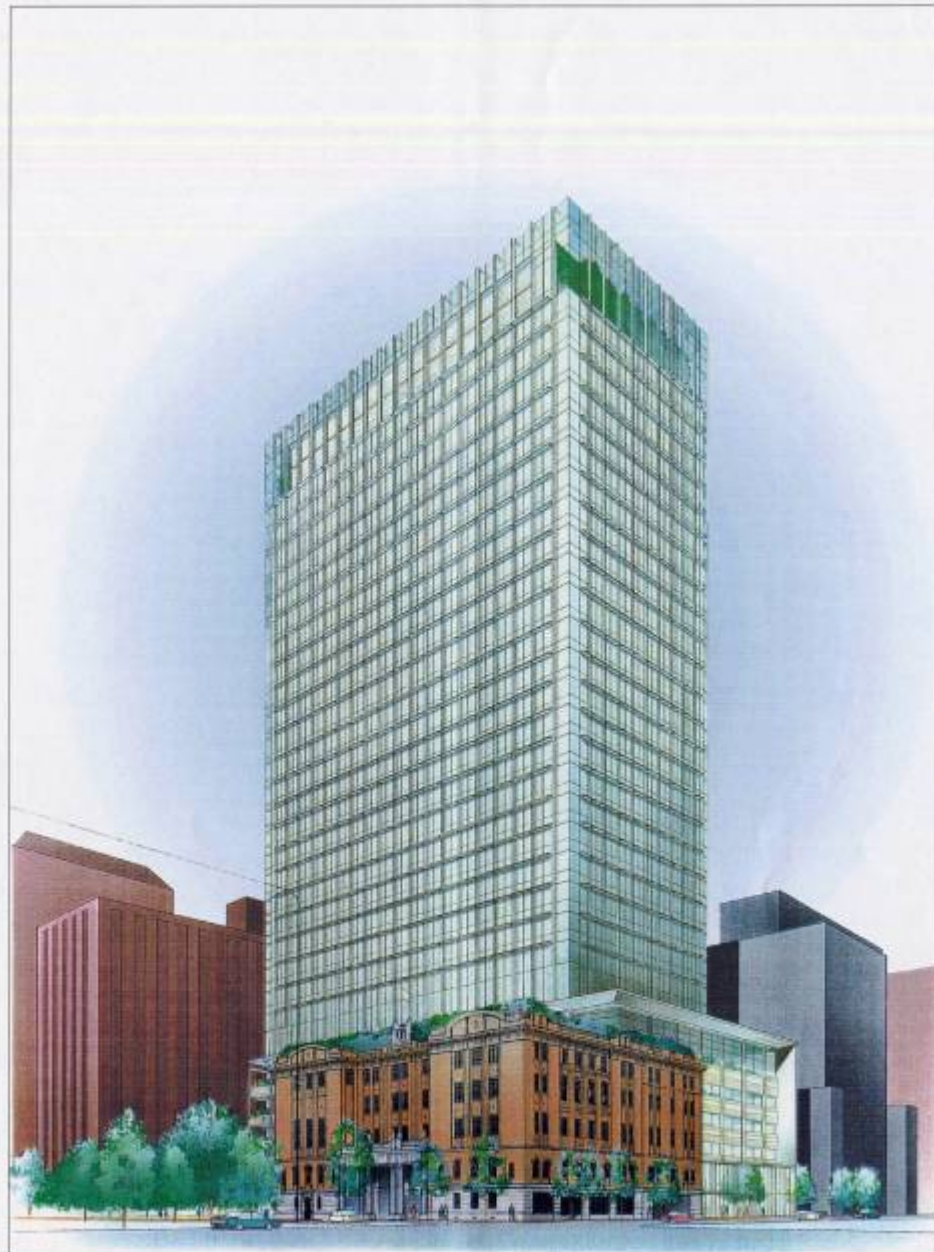


(平成元年東京都「東京都歴史建造物」150棟より)

千代田区審議会資料より



■外観パース



東京駅前広場から

千代田区審議会資料より





テーマ性のある界隈  
 プロムナード  
 活きた通路  
 見えない駐車場  
 表と裏の表情

時代の対話  
 通りの性格  
 中心となる広場  
 目標となる建造物  
 高さの分節  
 建物の縁（ふち）  
 門・玄関  
 ふさわしい色彩  
 「都」の魅力

交流の場所  
 歩行者ネットワーク  
 交流の場所  
 人の気配  
 陽のあたる場所  
 座れる場所

仲通り：  
 ヒューマンスケールの憩いの場  
 街並みの連続  
 →店舗にぎわいの連続、31mの表情線  
 広場と歩道状空地 歩行者空間の充実

大名小路：  
 「表通り」としてのビジネス街の玄関口  
 →31mの表情線  
 ビルエントランス、ビルエントランス  
 の表情

つながる緑  
 広場から広場  
 つながる緑  
 身近な花

駅前広場：  
 象徴的で風格のある心象風景の継承  
 →工業倶楽部の外観保存  
 31mの表情線

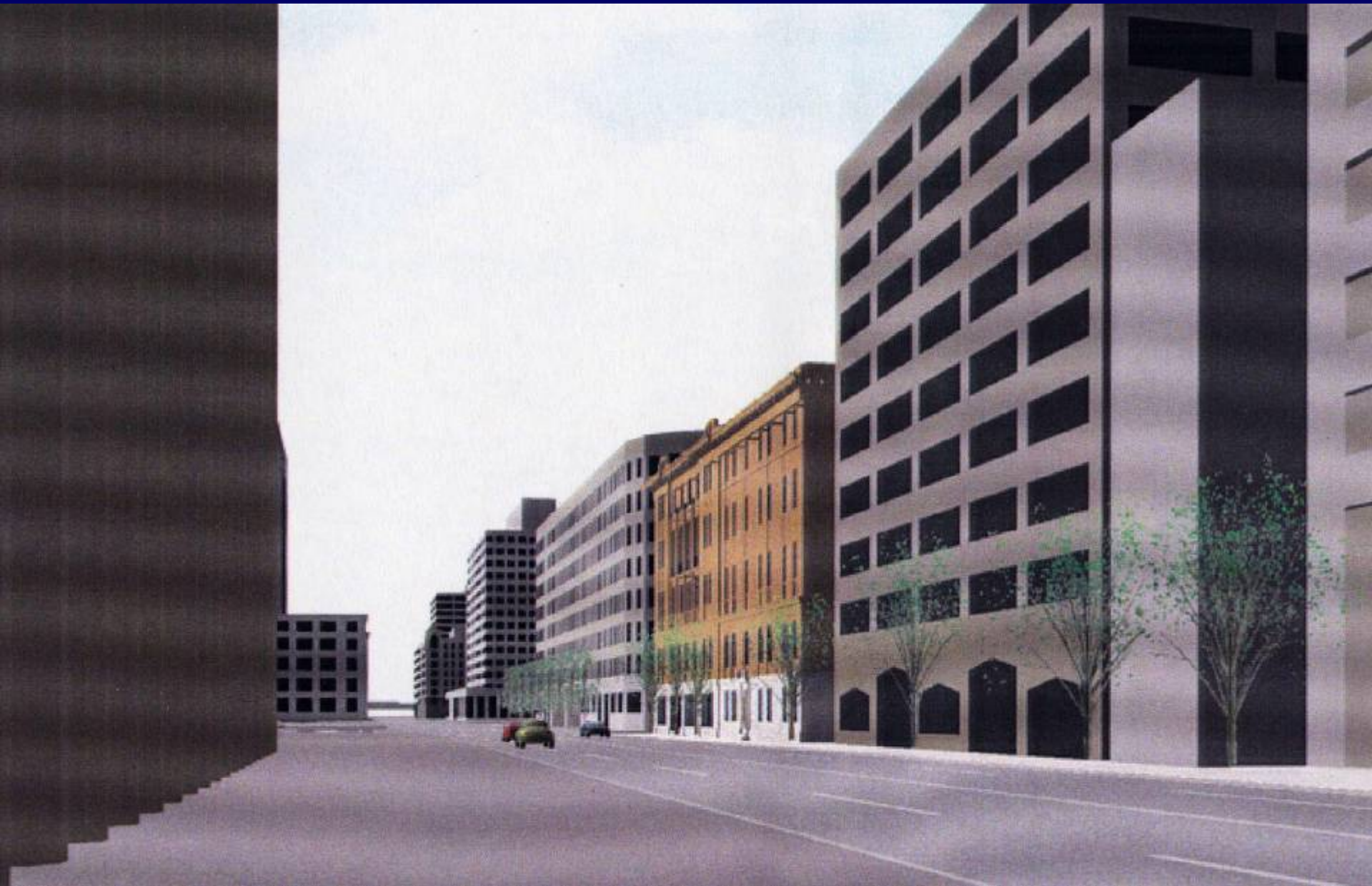
和田倉通り：  
 歴史的街並みの継承  
 →工業倶楽部の保存 交流機能の継承  
 歴史景観広場

情景の保存  
 敷地の履歴  
 壁の表情  
 見切りのデザイン  
 語りかける細部  
 ふさわしい材料  
 先端性の蓄積

※図中のキーワードは千代田区景観協議資料による

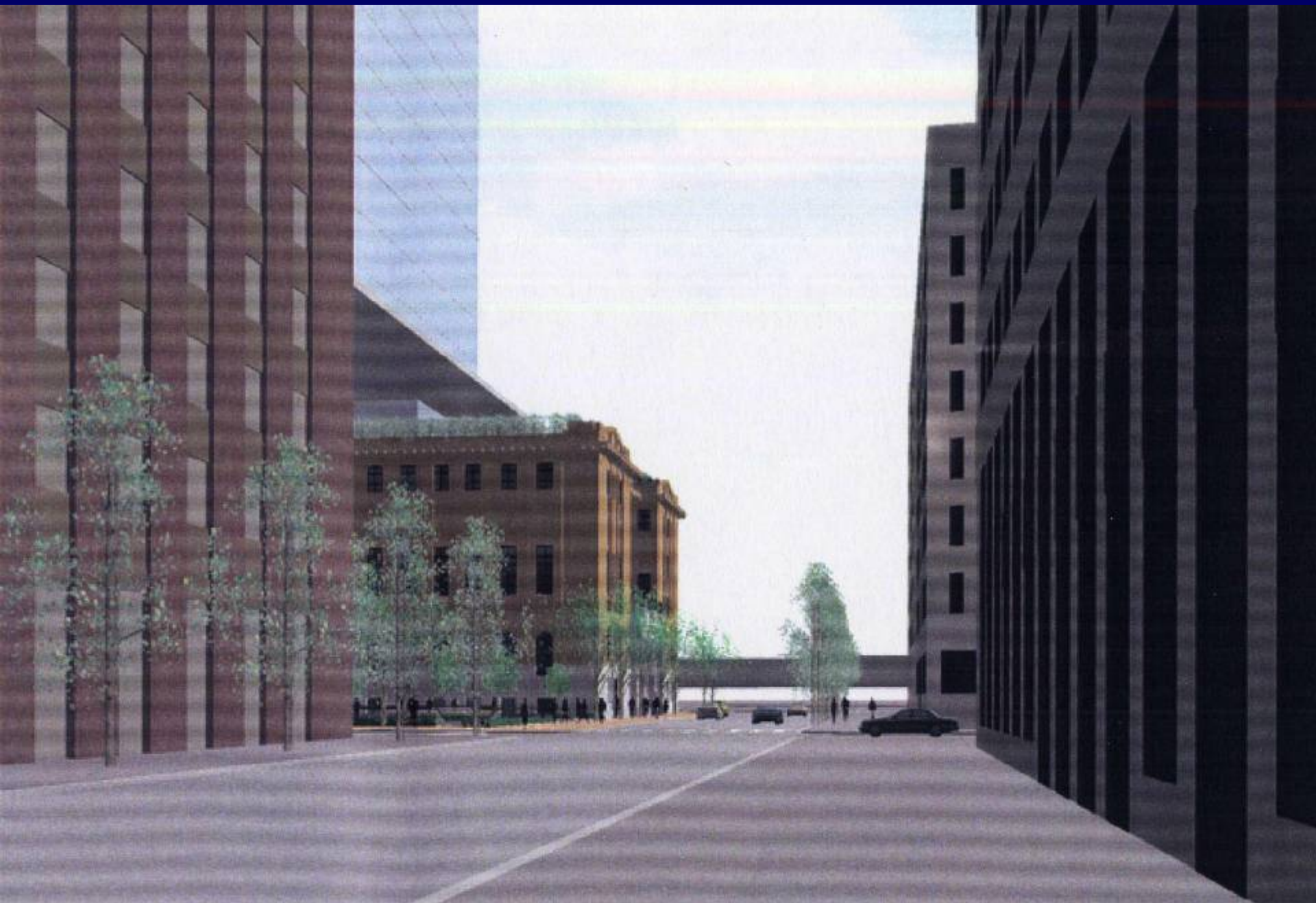


















P

PARKIN

B<sub>2</sub>

B<sub>3</sub>

P







# 三菱1号館再建

歴史・文化・交流軸

駅前広場を中心とした象徴の整備

緑のネットワーク

慶屋  
(旧江戸城跡)

第一生命保険 1939年(昭14)  
渡辺仁

明治生命 1934年(昭9)

岡田信一郎

東京會館  
東京商業  
会議所跡

2号館跡  
明治生命  
5号館跡

まとまりのある広場・緑の空間  
有楽~丸の内、仲通りの連続性の中で受けの空間  
一丁倫敦の軒高と、31mの景観の緩衝帯

富士ビル  
13号館跡

銀行集会所  
1916年(大5)  
横河工務所

14号館跡  
新東京ビル

4号館跡  
三菱1号館 1894年(明27)  
J・コンドル

三菱重工業ビル

丸の内ビル

新丸の内ビル

3号館跡

三菱ビル

日本工業倶楽部  
1920年(大9)  
横河工務所

有楽町駅

東京国際フォーラム  
東京都庁会館

東京三菱銀行本店

T計画

東京中央郵便局

東京中央郵便局  
1933年(昭8)  
吉田鉄郎

東京駅 1914年(大3)  
高野益吉

仲通りの丸の内~有楽町の回遊性のみならず、フォーラム側からの吸引力を高めると共に、東西方向のネットワークを強化させる事が可能となる

開かれた視線  
東京三菱銀行本店の前庭により視認性が確保されている

三菱村の四軒長屋  
↓  
一丁倫敦  
丸の内ビジネス街の形成

■丸の内ビジネス街の形成の第一歩である三菱一号楼を復元する事により、江戸-明治-大正-昭和そして平成と培われてきた都市形成の重層化を図る。また、丸の内という歴史によって形成されてきた都市・街そのものの固有の財産とし街の活性化を図る。  
■明治生命、東京三菱銀行、T計画によって狭まれた計画地の視認性とネットワークを構築する。





ヲ通先場馬内の丸 (所名都帝)  
THE BABASAKIMON STREET TOKYO













千代田区審議会資料より





千代田区審議会資料より





## 東京駅駅前広場、中央郵便局コーナーより見る



**ゲートの緑**  
広場の緑・シンメトリーな空間・並木道  
商業店舗と連携した緑・地下への誘引

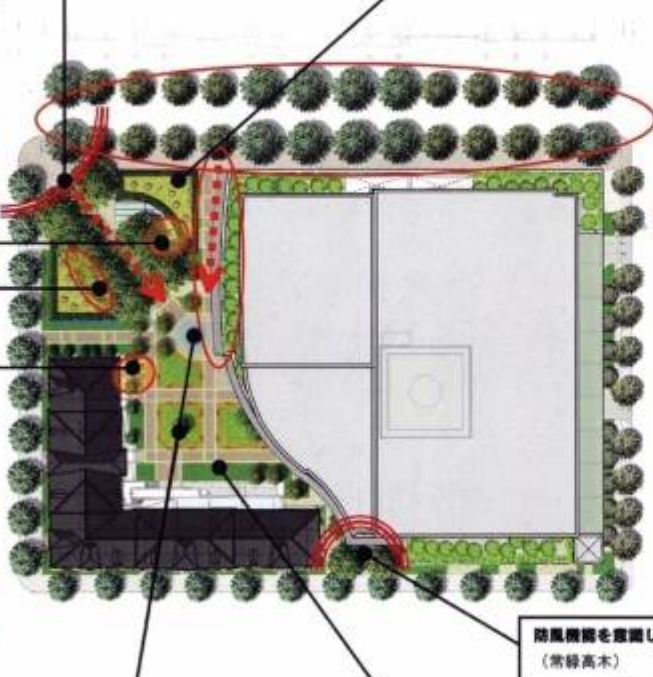
**屋上緑化**

**水の賑わい**  
水の動き・水の音

オプには水を止めて展示活用スペースとしても

**ほっとする空間**  
グランドカバーを多用し緑視率を高める  
芝の場合は踏み込み抑制や常緑にするために冬を越せる洋芝の追加播種が必要

**たまり場となる緑陰**  
店舗の賑わい感の形成と溢み出し  
緑陰の下の賑わい  
オーニングやオープンカフェの展開



**季節感を感じる緑・花**  
メンテナンスに配慮した花卉類の利用

**様々な広場空間を生かしたイベント・演出**  
季節を感じさせるシーズンイベント  
ガーデンコンサート・ガーデンイベント

**一号館と調和したディテール、自然素材など**  
レンガなど一号館と連携の取れた自然の素材感や色彩  
一号館を引き立てる視線めの緑

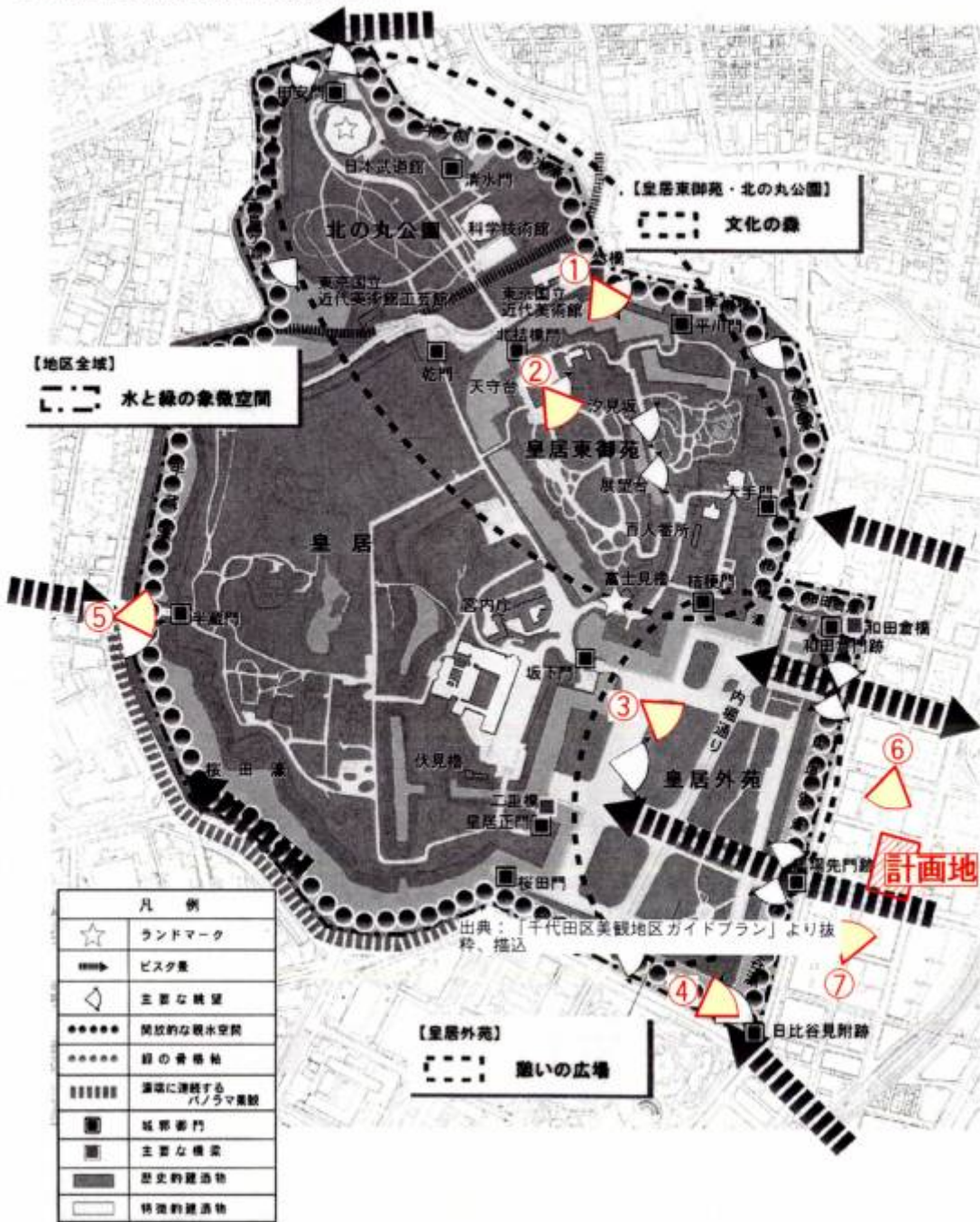
**環境共生への取組み**  
照り返しの少ない、質感のある舗装材料  
保水性舗装の検討  
ミストや水量施設の組み合わせも検討

丸の内パビリオン  
カフェコーナー  
美術館展示室

防風機能を兼ねた緑  
(常緑高木)



■皇居とその周辺地区の景観方針図



# 江戸城天守台より見る



丸ビル

計画建物

明治安田生命ビル

# 坂下門方向より見る



④日比谷壕方向から見る



⑦仲通りより見る（日比谷方面より）



東京ビル

計画建物

千代田区審議会資料より



## 低層における歴史的な デザイン継承の考え方

- 三菱一号館と旧丸ビルファサード構成をデザインし、景観の連続性や統一感を図った。



- 1. 歴史的な景観を発展的に継承**  
～新しい都市景観壁面の位置等に構える軒高31m
- 2. 八重洲ビルの特徴の継承**  
～東京駅からのランドマークとしてのフォルム等の表現
- 3. 古材の利用**  
～小松石が用いられた八重洲ビルのメイン出入口の活用或いは基礎部の活用  
その他インテリアとして古材活用等を検討

# 馬場先通り対岸より全景をみる



# 議員会館

著作権処理の都合で、この場所に挿入されていた図は削除されました。





山王パークタワー

赤坂パークビル

プルデンシャルタワー



山王パークタワー

赤坂パークビル

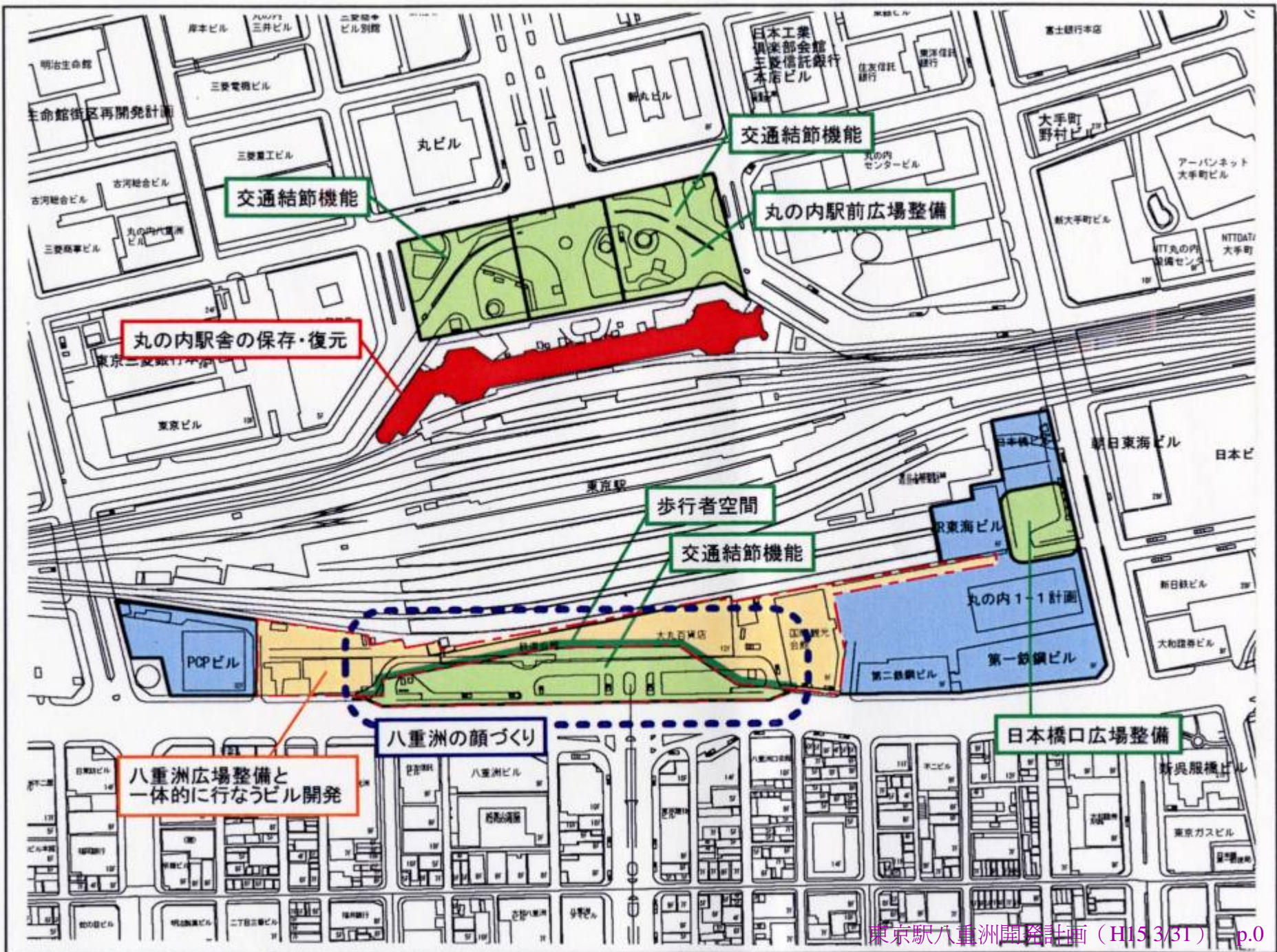
プルデンシャルタワー







東京駅八重洲駅舎



丸の内駅舎の保存・復元

交通結節機能

交通結節機能

丸の内駅前広場整備

歩行者空間

交通結節機能

八重洲広場整備と一体的に行なうビル開発

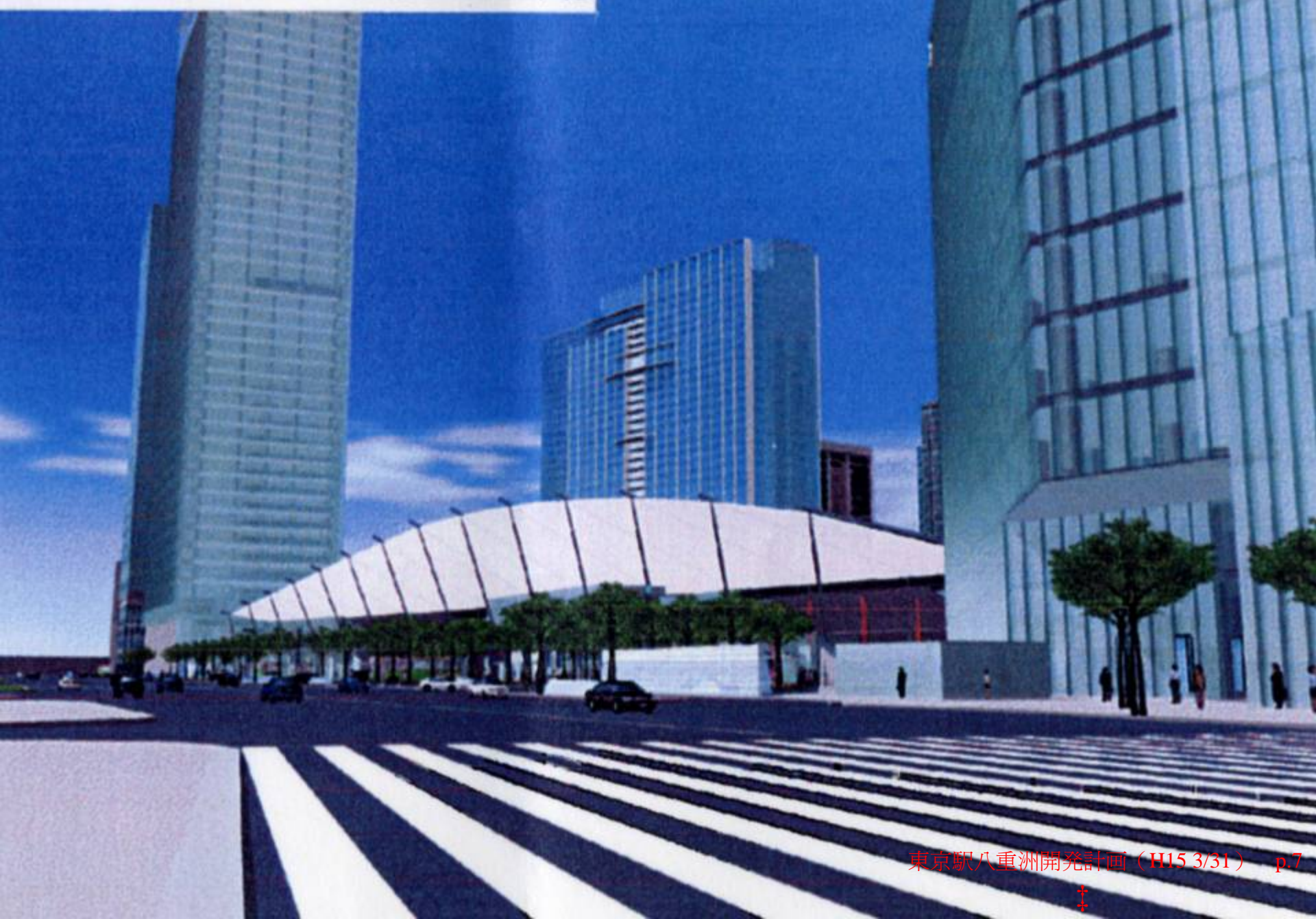
八重洲の顔づくり

日本橋口広場整備





【きのある広々とした駅前広場空間】



【の八重洲通り】





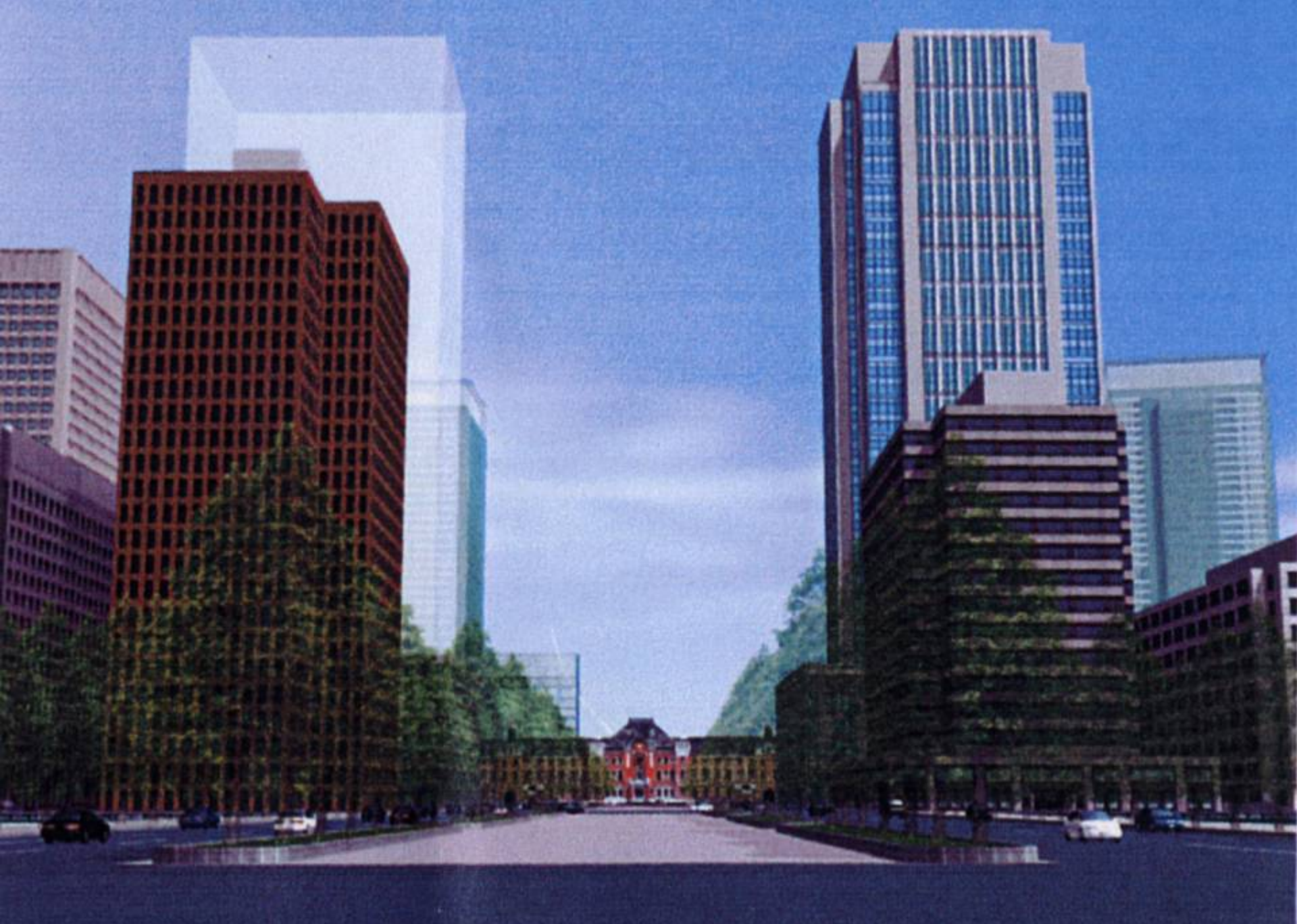




AN IMPERIAL VISITING ROAD. (TOKYO) 路道幸行 (京東)



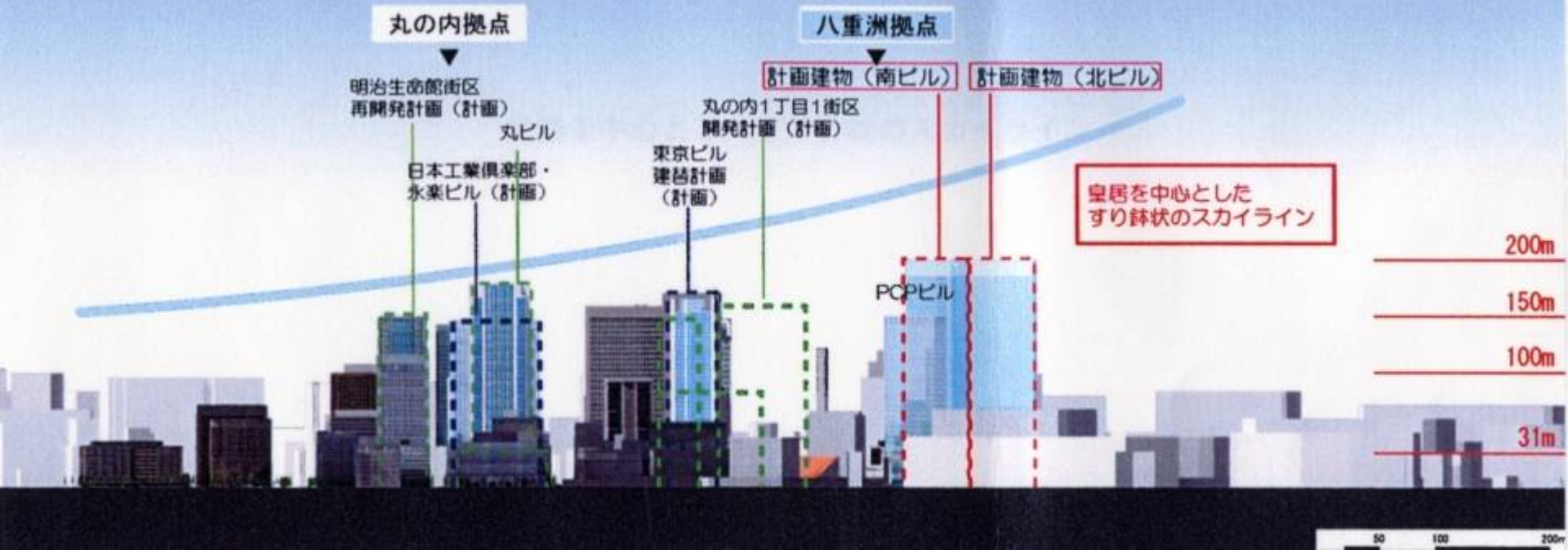
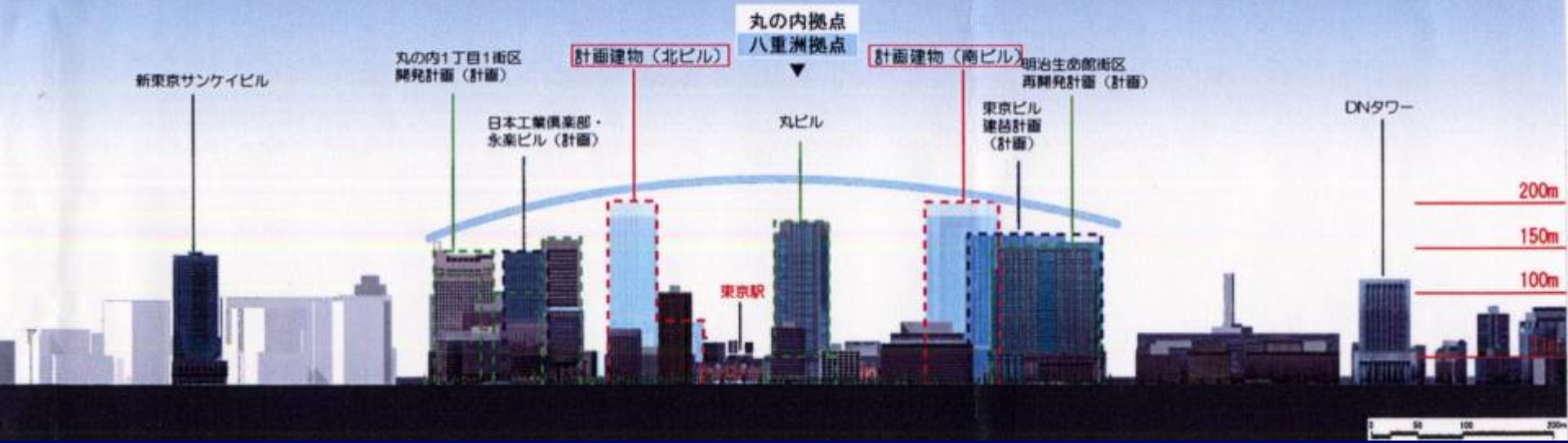






東京駅八重洲開発計画（H15 3/31） p.6







有楽町駅周辺

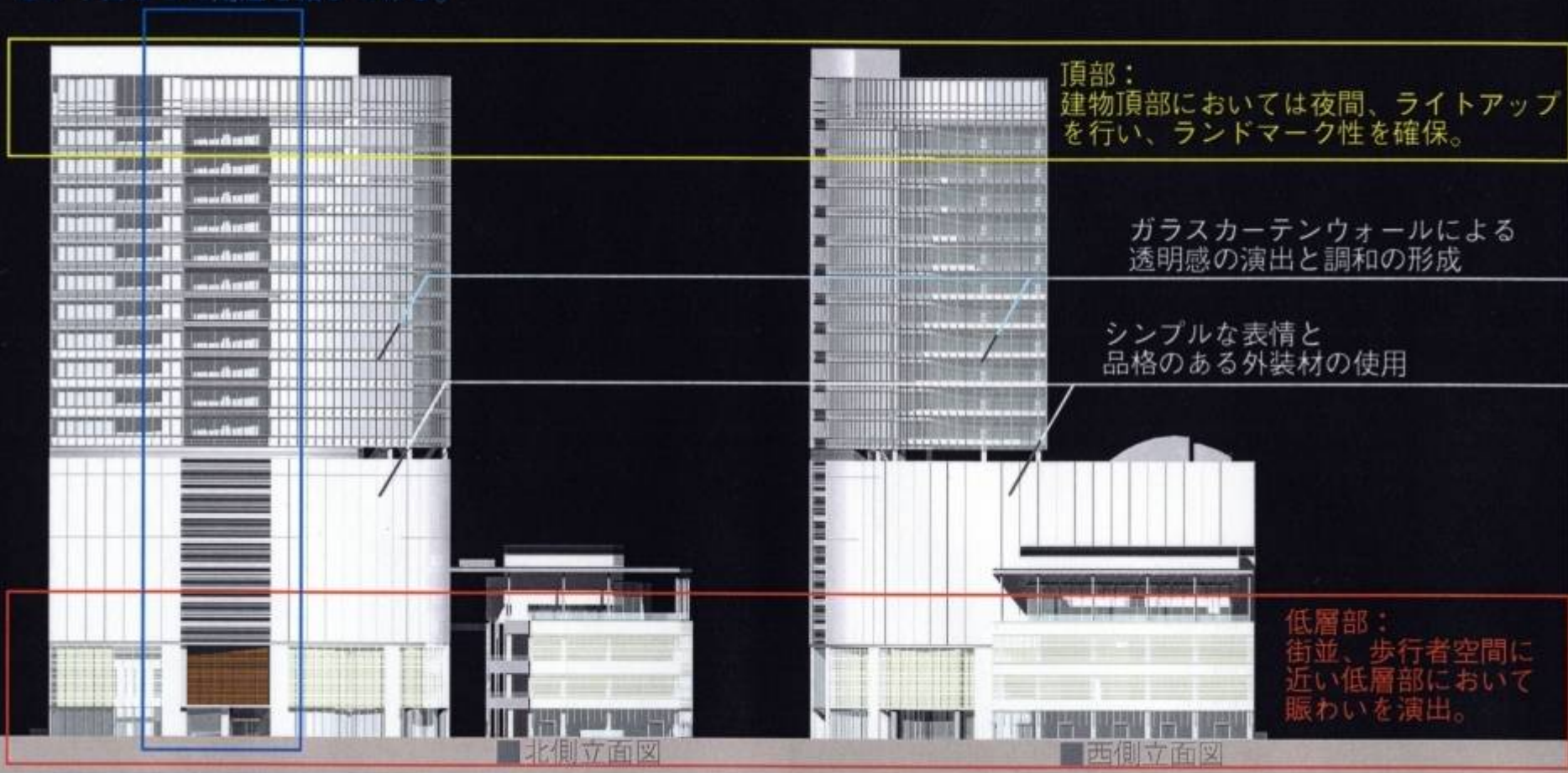
# VIEW POINT



千代田区審議会資料より



共通のデザインにより校店舗と事務所  
という異なった用途を結びつける。



頂部：  
建物頂部においては夜間、ライトアップ  
を行い、ランドマーク性を確保。

ガラスカーテンウォールによる  
透明感の演出と調和の形成

シンプルな表情と  
品格のある外装材の使用

低層部：  
街並、歩行者空間に  
近い低層部において  
賑わいを演出。

北側立面図

西側立面図



2002.12.19  
景観審議会案



千代田区審議会資料  
有楽町駅前第一地区第一  
種市街地再開発事業計画  
p.06より

2003.3.31  
景観審議会変更案

DNタワー21

計画建物

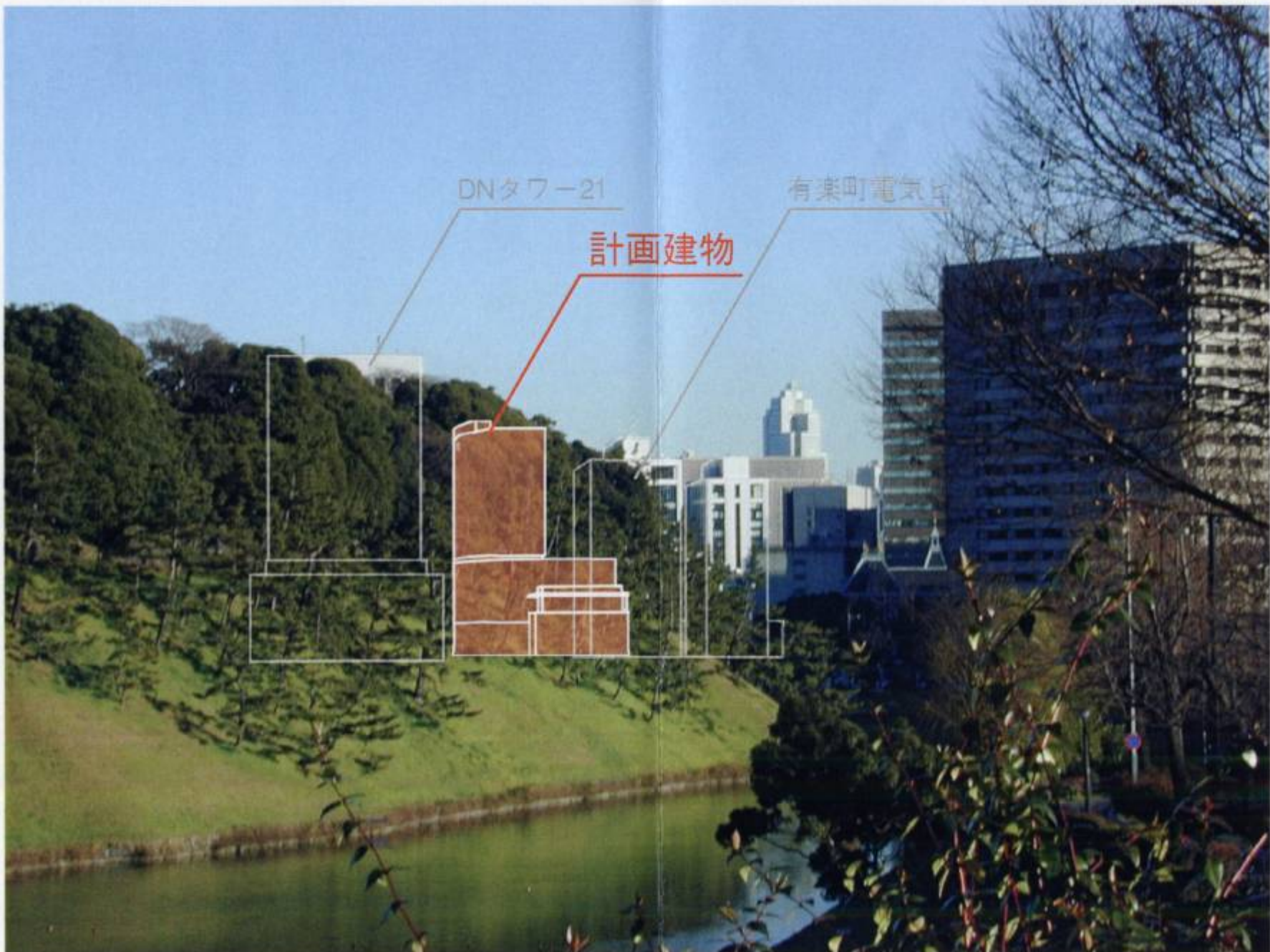
有楽町電気ビル



桜田門から

千代田区審議会資料より



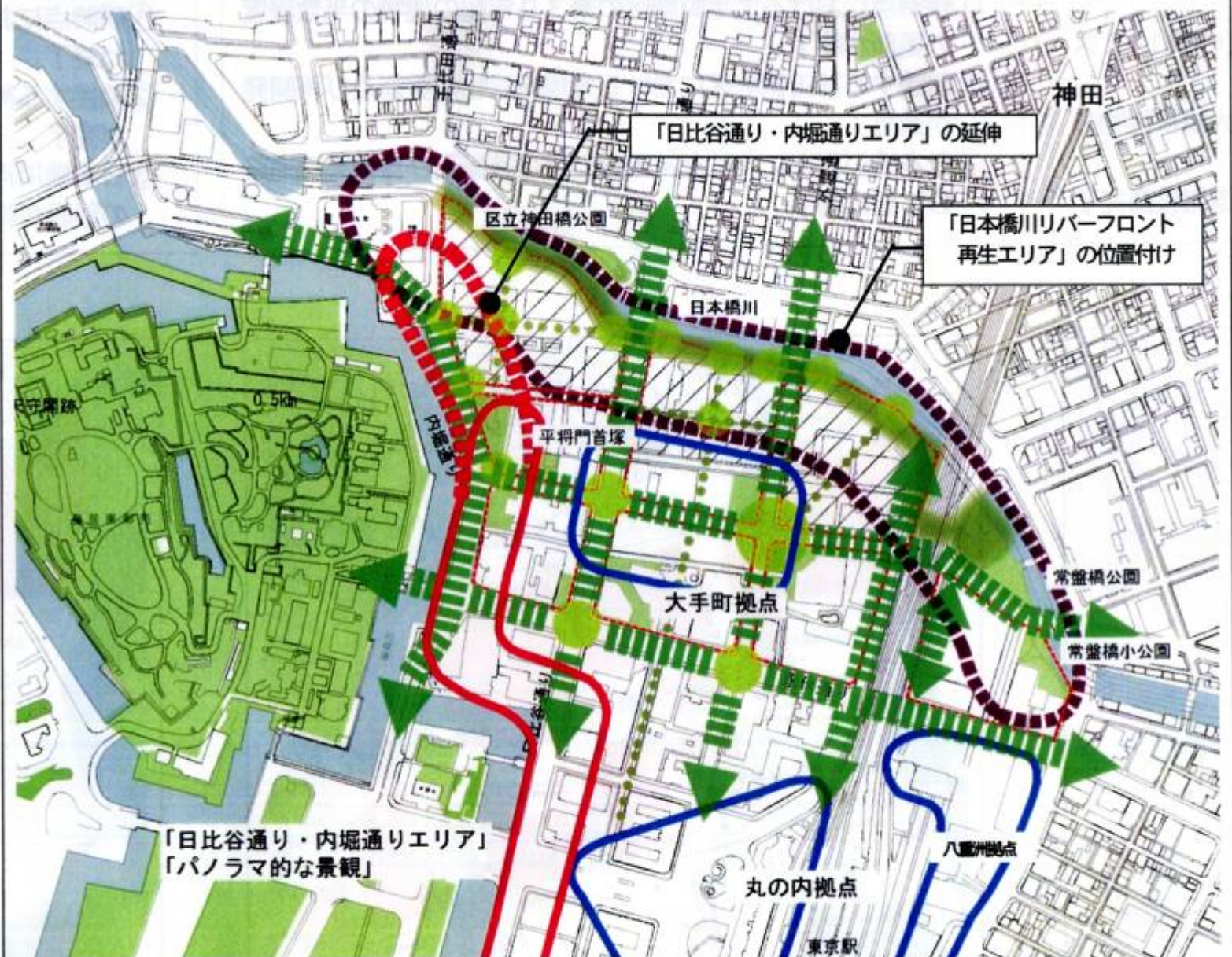


DNタワー21

有楽町電気ビル

計画建物

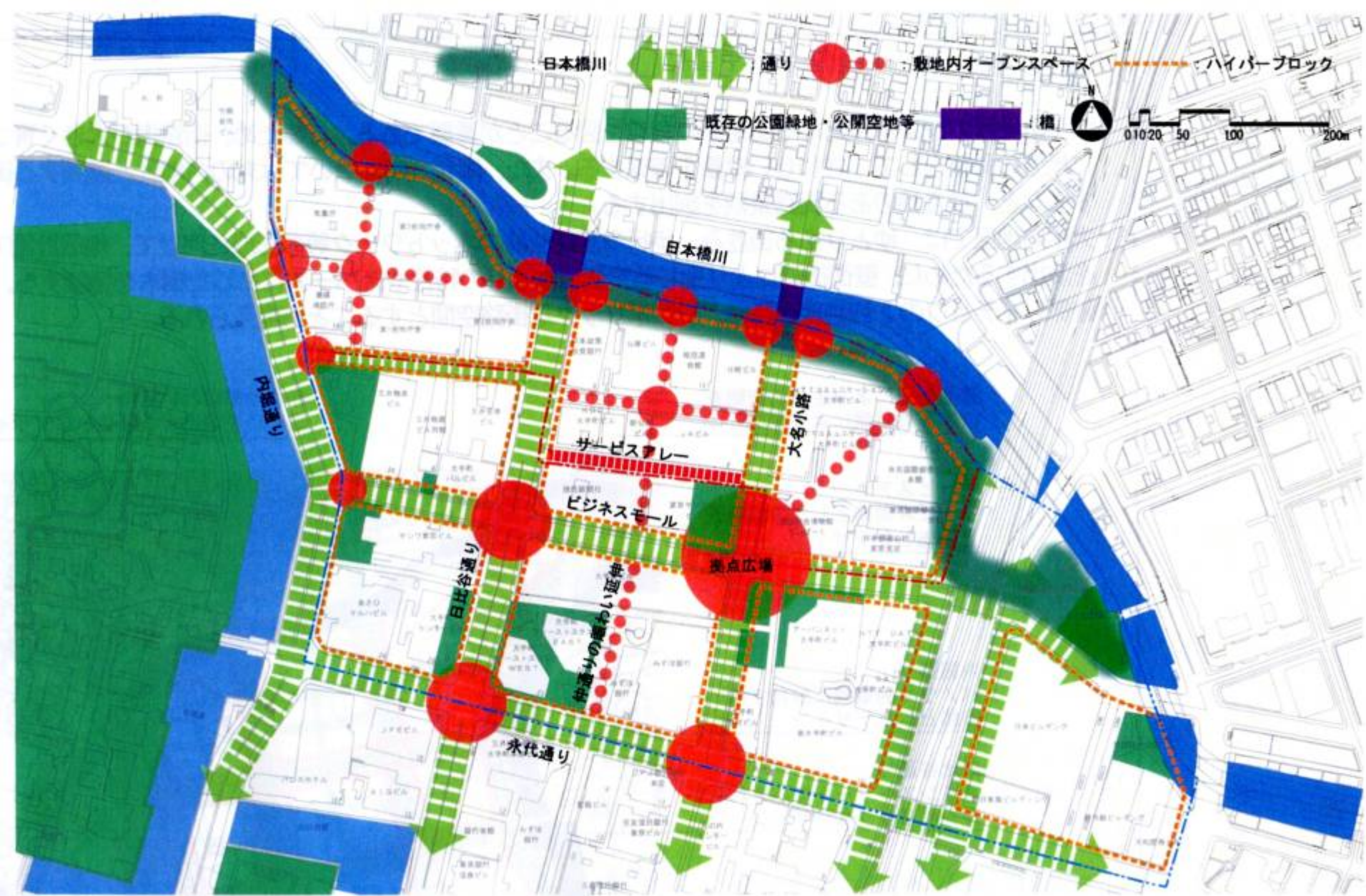
# 大手町の連鎖型再開発



凡例

- |  |                             |  |                           |  |                         |
|--|-----------------------------|--|---------------------------|--|-------------------------|
|  | 日本橋川沿いのオープンスペースネットワーク<br>通り |  | 公園、オープンスペース               |  | 大手町拠点、丸の内拠点<br>八重洲拠点    |
|  | 歩行者ネットワーク                   |  | 日比谷通り・内堀通りエリア<br>パノラマ的な景観 |  | 日本橋川リバーフロント<br>再生エリアの設置 |
|  | 敷地内オープンスペース                 |  | 日比谷通り・内堀通りエリア<br>の延伸      |  | 大手町土地区画整理事業施行区域         |

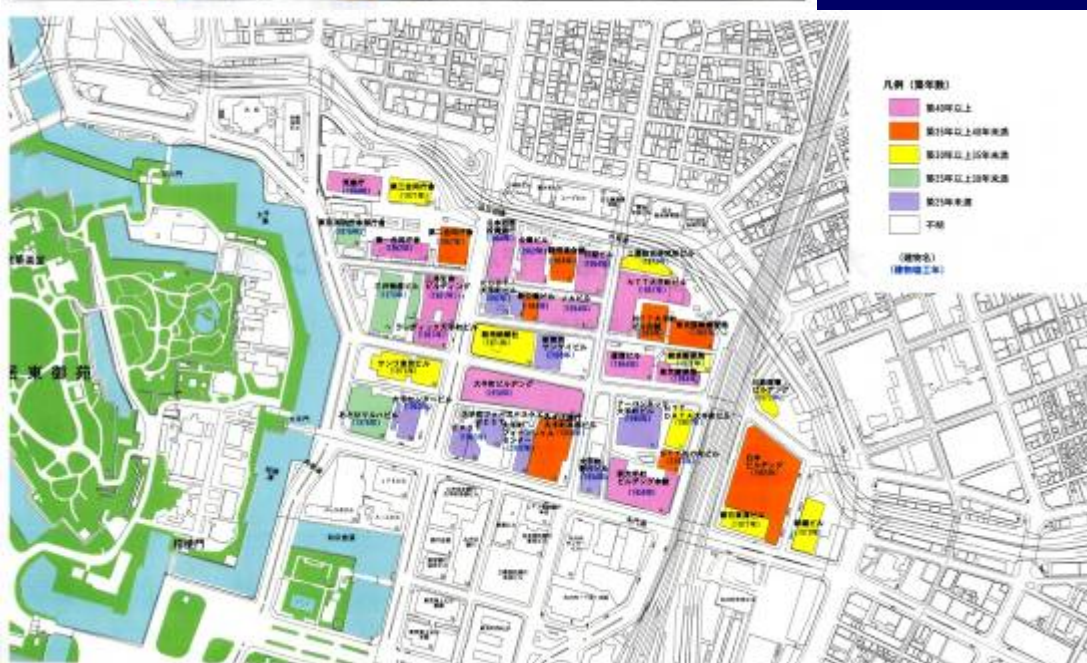
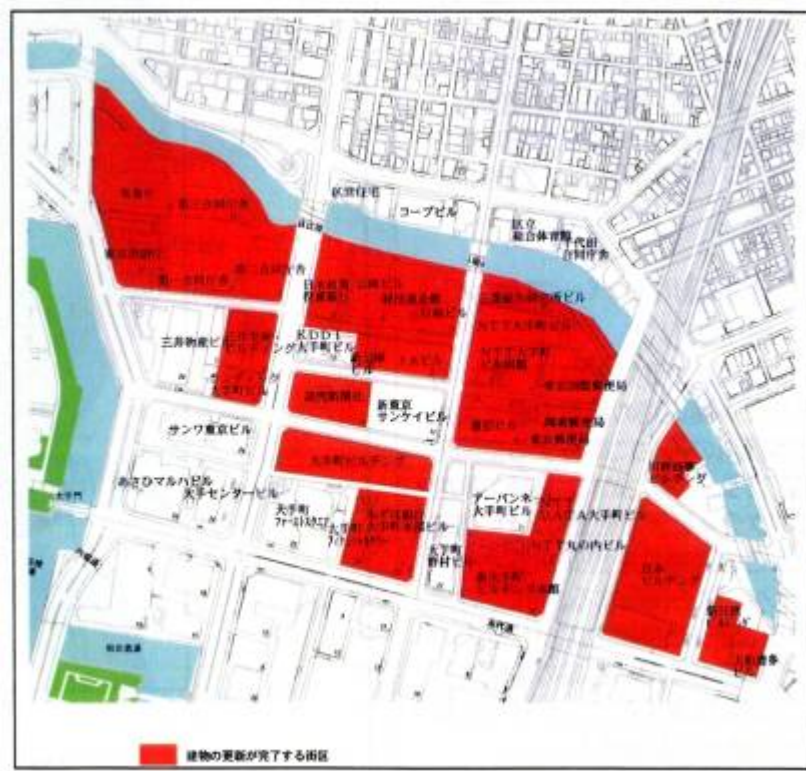
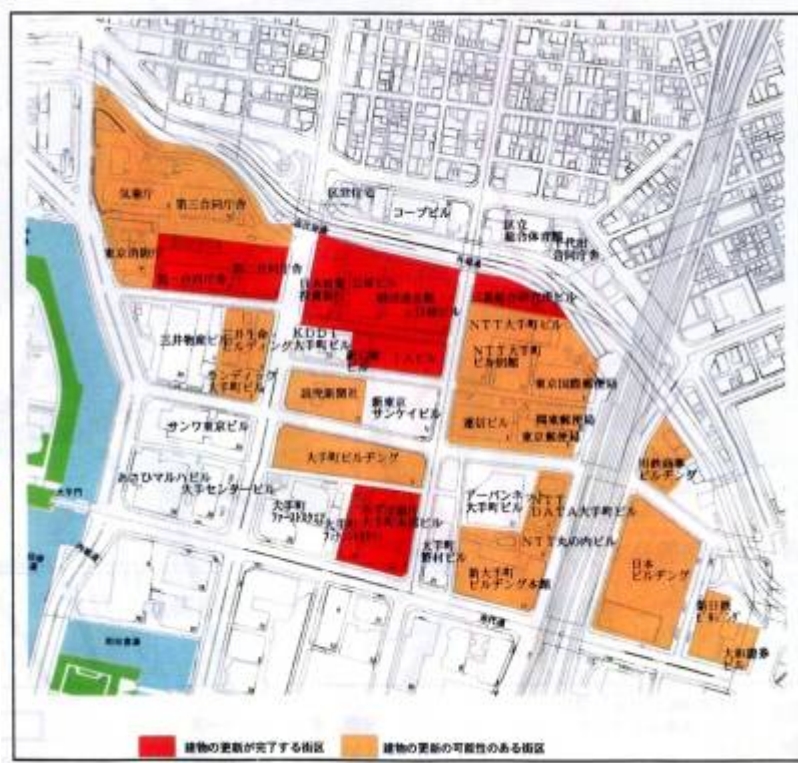
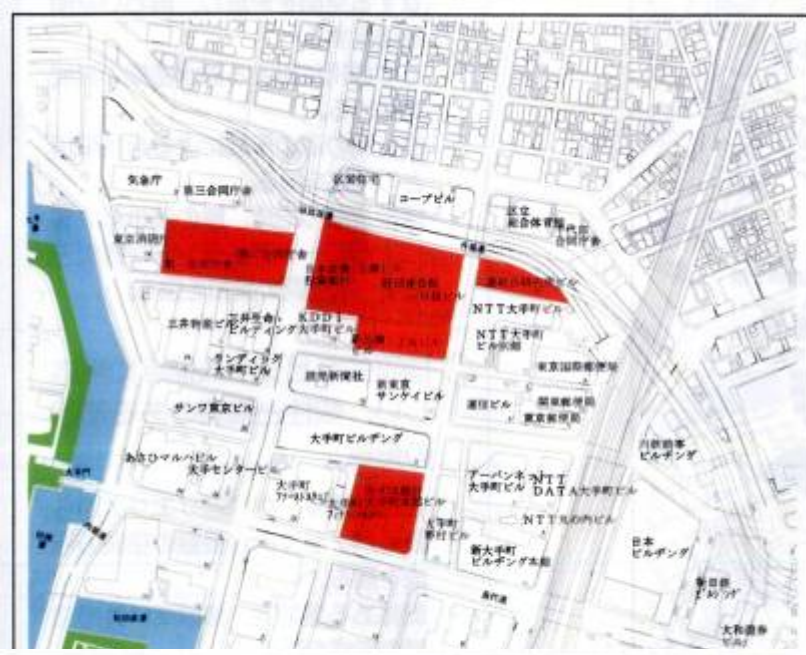
「大手町まちづくり景観検討委員会編」  
大手町まちづくり景観デザインガイドライン P.15



「大手町まちづくり  
 景観検討委員会 編」  
 大手町まちづくり  
 景観デザイン  
 ガイドライン  
 P.14 フェーズ1  
 ~3



(右下)P.2  
 大手町まちづくり  
 景観デザイン  
 ガイドライン  
 ①大手町再編の  
 必要性









## ②内堀通り・大手門から



# ④内堀通り・竹橋から

第1、2合同庁舎跡地

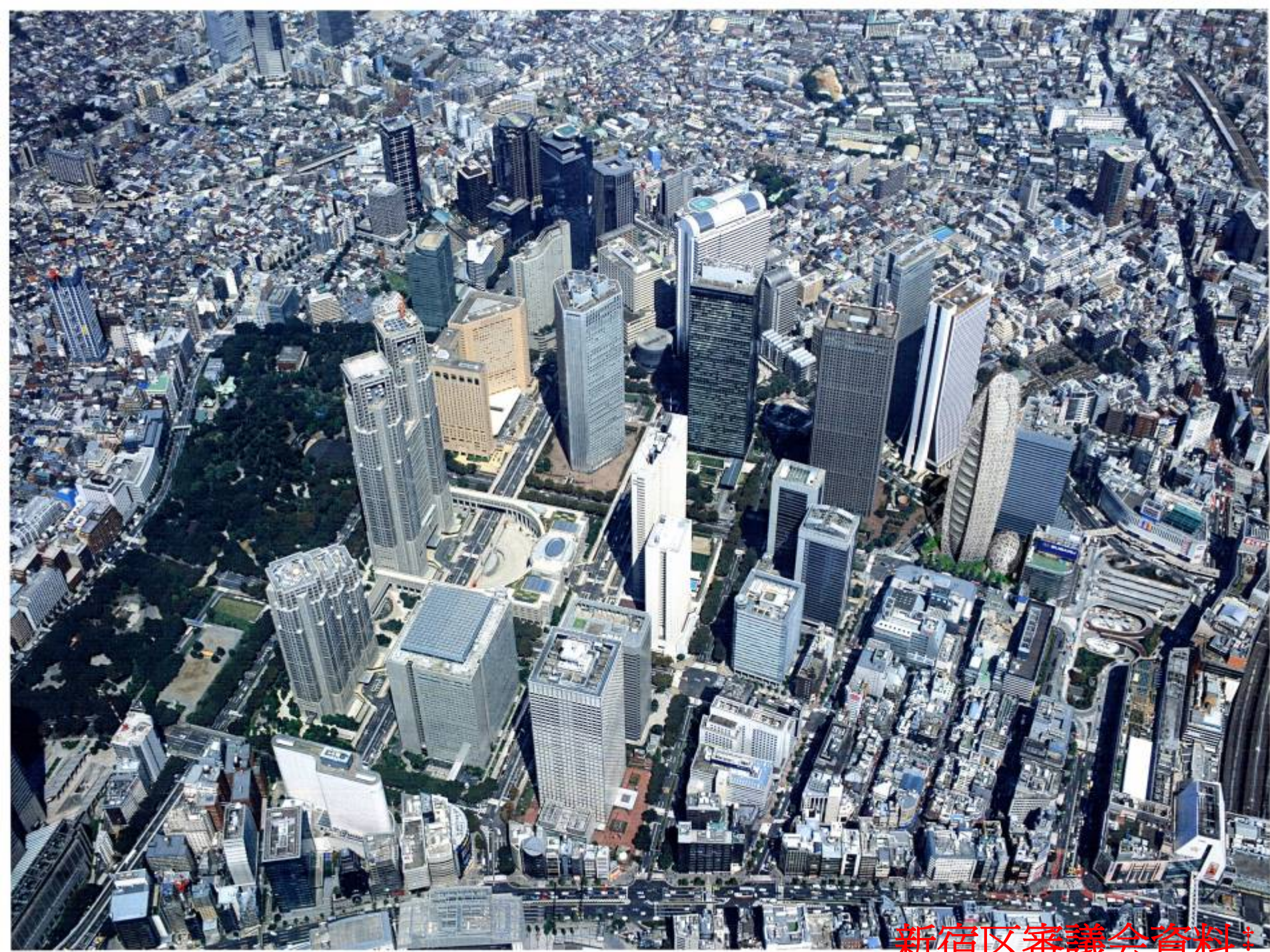


⑧本郷通り・小川町から

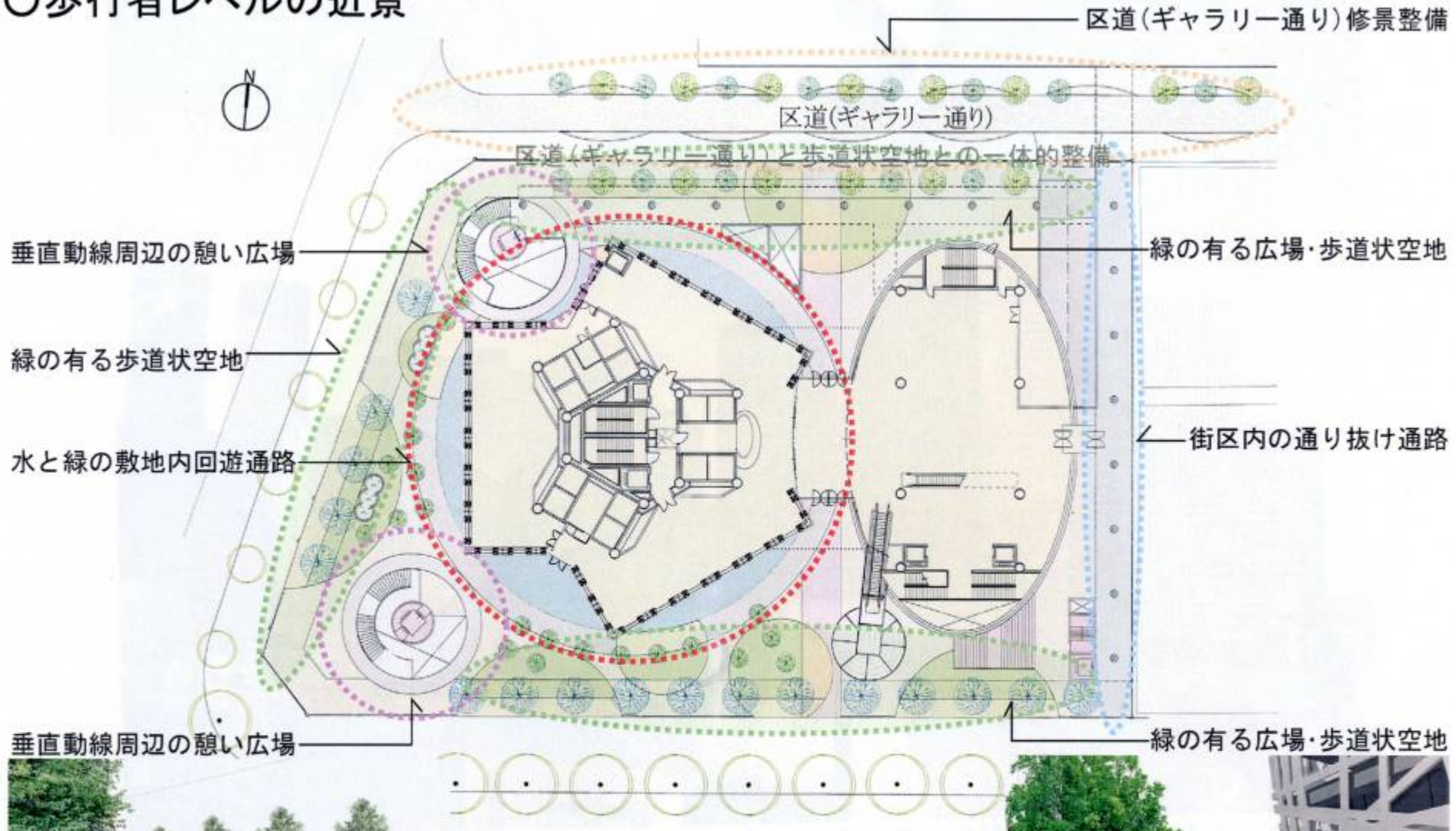


第1、2合同庁舎跡地

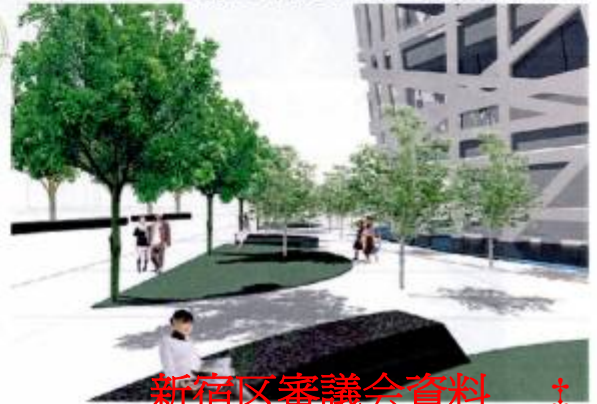
新宿西口・東京モード学院ビル



# ○歩行者レベルの近景



中央通り



1階平面図、外構図 S=1:800









